

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

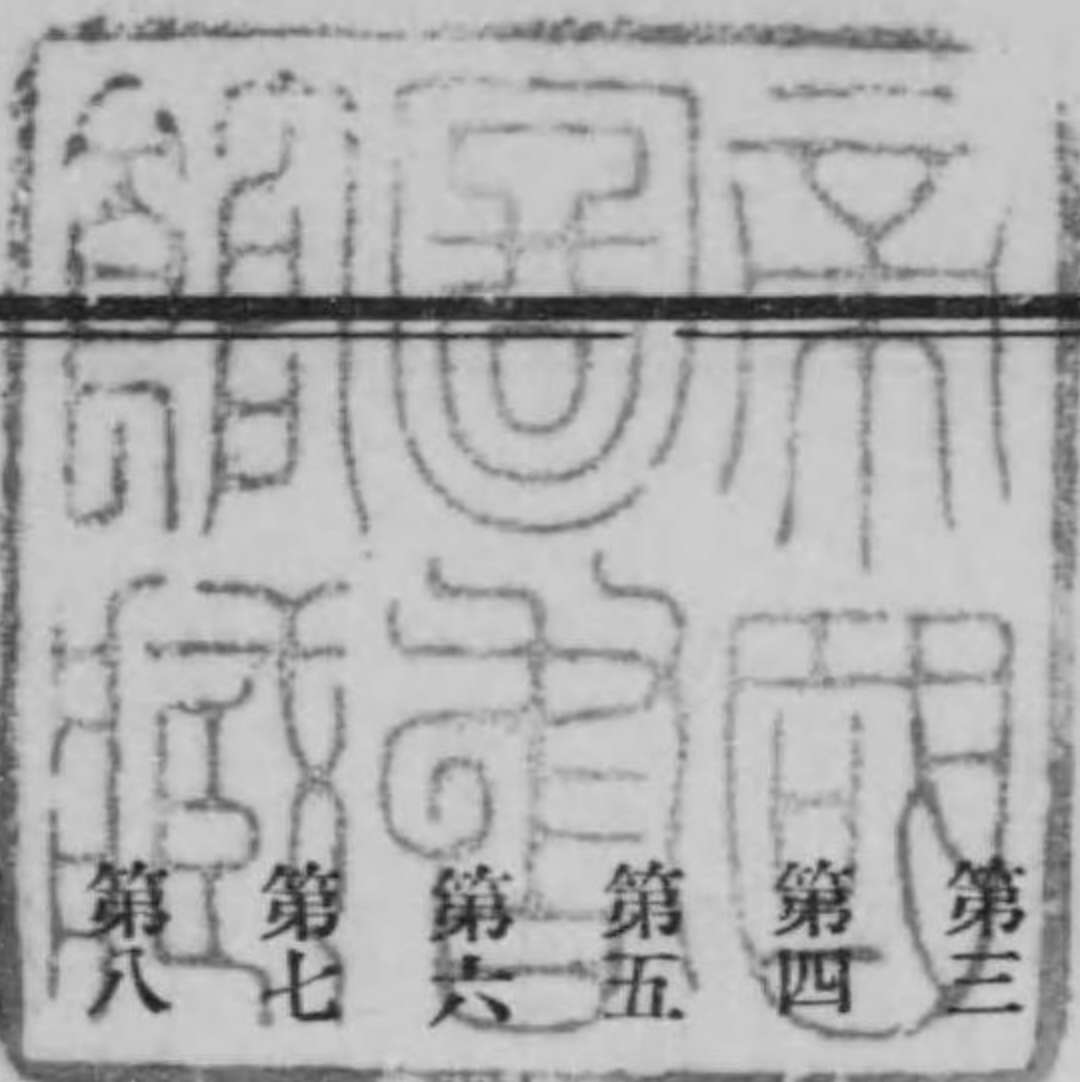
始



第二高等學校一覽

自大正七年
至大正八年

283-2



第二高等學校一覽目次

第一章 高等學校ニ關スル法令

第一 高等學校令

第二 大學豫科設置

第三 大學豫科學科規程

第四 官制

第五 名譽教授ニ關スル勅令

第六 職員定員令官等俸給令及教官俸給支給

第七 直轄諸學校生徒監特別任用令

第八 學校長職務規程

第九 生徒身體檢査規程

第十 大學豫科入學者資格



二五丁 二二丁 二一丁 二〇丁 一四丁 四丁 二丁 二丁 一丁 一丁

第十一	高等學校大學豫科入學者選拔試驗規程	二七丁
第十二	高等學校大學豫科入學者選拔試驗無試驗檢定規定	三二丁
第十三	行幸啓ノ節學生生徒敬禮方	三四丁
第十四	在學證明書ニ關スル規程	三六丁
第十五	大學豫科學力檢定規程	三七丁
第十六	專門學校入學者檢定規程	三八丁
第十七	外國人特別入學規程	四〇丁
第二章	沿革略	四三丁
第三章	學 曆	六〇丁
第四章	規 則	六二丁
第一款	學年、學期及休業	六二丁
第二款	入學、在學及退學	六三丁



第三款	學科課程	七三丁
第四款	大學豫科試業進級及卒業	七九丁
第五款	授業料及被服	八三丁
第六款	休 學	八八丁
第七款	寄宿舍	八九丁
第八款	圖 書	九一丁
第九款	器 械	九五丁
第五章	細 則	九八丁
第一款	校務分掌規程	九八丁
第二款	學校醫服務規程	一〇九丁
第三款	教授會假規程	一〇九丁
第四款	生徒總代規程	一一〇丁

第五款	生徒通學規程	一一一丁
第六款	行軍規程	一一四丁
第七款	物品會計規程施行細則	一一五丁
第八款	生徒圖書閱覽細則	一二二丁
第九款	圖書閱覽特許假規程	一二四丁
第十款	圖書寄託規程	一二七丁
第十一款	防火警備心得	一二八丁
第六章	職員	一三一丁
第七章	生徒	一四〇丁
第八章	卒業生氏名	一七二丁
第九章	敷地附屬地及建物	二七一丁
附表		

第一	生徒學科別表	二七八丁
第二	生徒年齡別表	二七九丁
第三	生徒道府縣別人員表	二八一丁
第四	卒業生道府縣別人員表	二八六丁
附錄		
	尙志會會則	二九一丁
	敷地及建物全圖	

第二高等學校一覽

○第一章 高等學校ニ關スル法令

第一 高等學校令

勅令第七十五號

(明治二十七年六月二十三日)

高等學校令(抄)

高等學校ニ専門學科ヲ教授スル所トス但帝國大學ニ入學スル者ノ爲メ豫科ヲ設クルコトヲ得

高等學校ハ其附屬トシテ低度ナル特別學科ヲ設クルコトヲ得

第二 大學豫科設置

文部省令第十五號(抄)(明治二十七年七月十二日)(明治三十三年四月十九日省令第七號同三十四年六月七日省令第十三號同四十一年四月八日省令第十四號ヲ以テ改正)

一 第一、第二、第三、第四、第五、第六、第七、第八高等學校ニ大學豫科ヲ設置ス

第三 大學豫科學科規程

文部省令第十三號 明治三十三年八月四日 明治三十五年四月廿五日省令第十號同三十七年八月二十二日 省令第十七號同四十二年六月十四日省令第十五號同四十二年八月十九日省令第二十號同四十三年四月二十一日省令第九號 同年十一月一日省令第二十六號ヲ以テ改正

明治二十七年文部省令第十八號高等學校ニ設置スル大學豫科ノ學科規程左ノ通改正ス

高等學校大學豫科學科規程

第一條 高等學校大學豫科ノ學科ヲ分チテ第一部、第二部及第三部トス第一部ノ學科ハ法科大學及文科大學志望者ニ第二部ノ學科ハ醫科大學ノ藥學科、工科大學、理科大學、理工科大學及農科大學志望者ニ第三部ノ學科ハ醫科大學志望者ニ課スルモノトス

第二條 第一部ノ學科ハ修身、國語及漢文、外國語、歷史、論理及心理、法學通論、體操トス

前項ノ學科ノ外文科大學志望者ニハ經濟通論ヲ課ス

第二項ノ學科中文科大學哲學科志望者ニハ論理及心理ヲ缺キ數學、物理ヲ課ス

外國語ハ英語、獨語及佛語ノ中ニ就キ二種ヲ選ハシム

第一項ノ學科ノ外法科大學志望者ニハ隨意科トシテ羅旬語ヲ課スルコトヲ得

第三條 第二部ノ學科ハ修身、國語、外國語、數學、物理、化學、地質及礦物、圖書、體操トス

前項ノ學科ノ外醫科大學ノ藥學科、理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科、礦物學科並ニ農科大學志望者ニハ動物及植物ヲ課シ工科大學及理工科大學ノ土木工學科、機械工學科、電氣工學科、採礦及冶金學科、工科大學ノ造船學科、建築學科、理科大學及理工科大學ノ理學科、理科大學ノ星學科並ニ農科大學ノ農學科、農藝化學科、林學科志望者ニハ測量ヲ課ス
外國語ハ英語ノ外獨語又ハ佛語ヲ選ハシム但工科大學及理工科大學ノ電氣工學

科、應用化學科、製造化學科、採鑛及冶金學科並ニ農科大學志望者ハ必ス獨語ヲ選フヘキモノトス

第一項ノ學科ノ外醫科大學ノ藥學科、理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科、礦物學科並ニ農科大學ノ獸醫學科志望者ニハ隨意科トシテ羅旬語ヲ課スルコトヲ得

第四條 第三部ノ學科ハ修身、國語、外國語、羅旬語、數學、物理、化學、動物及植物、體操トス

外國語ハ獨語ノ外英語又ハ佛語ヲ選ハシム、

第五條 各部各學科ノ每週授業時數左ノ如シ

第一部

修身	學年	第一	第二	第三
	年	一	二	三
	年	一	一	一
	年	一	一	一

國語及漢文	六	五	四
英語	(九)	(九)	(八)
獨語	(九)	(九)	(八)
佛語	(九)	(九)	(八)
歷史	三	三	三
論理及心理		二	
法學通論			二
經濟通論			(二)
體操	三	三	三
計	三一	三二	三二 三一

備考

表中()ハ選擇科目ノ時數ヲ示ス []ハ文科大學志望者ニノミ課スル時數ヲ示ス

文科大學哲學科志望者ニハ第三年ニ於テ國語ヲ缺ク且之ニ課スヘキ數學物理ノ授業時數左ノ如シ

學科	學年	第一年	第二年	第三年
		第一年	第二年	第三年
		第一年	第二年	第三年
		第一年	第二年	第三年
數學			二	
物理				二
英語		四	四	四
獨語又ハ佛語		一四	一四	一一

英語ヲ以テ入學シ法科大學ノ獨逸法又ハ佛蘭西法ヲ選修スル法律學科並ニ文科大學ノ獨逸文學科佛蘭西文學科ニ志望スル者ニ對シテハ外國語ノ授業時數ヲ左ノ如ク變更ス

第二部

學科	學年	第一年	第二年	第三年
		第一年	第二年	第三年
		第一年	第二年	第三年
		第一年	第二年	第三年
羅甸語				二
國語		三		
英語		八	七	四
獨語又ハ佛語		八	七	四

英語ヲ以テ入學シ法科大學ノ政治學科ニ志望スル者ノ外國語ノ授業時數ハ本人ノ志望ニヨリ前項ニ依ルコトヲ得
隨意科トシテ法科大學志望者ニ課スヘキ羅甸語ノ授業時數左ノ如シ

數	學	五	四	六
物	理		三	三
化	學		三	五
地質及鑛物				二
圖	畫	四	四	二
體	操	三	三	三
計		三二一	三二二	三〇

第三年ニ於テ醫科大學ノ藥學科、理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科、鑛物學科並ニ農科大學志望者ニハ數學ヲ缺キ工科大學及理工科大學ノ土木工程學科、機械工學科、工科大學ノ造船學科、建築學科、理科大學及理工科大學ノ數學科、物理學科及理科大學ノ星學科志望者ニハ化學ノ實驗ヲ缺キ理科大學ノ各學科理工科大學ノ數學科、物理學科、純正化學科及農科大學志望者ニハ圖書ヲ缺ク

醫科大學ノ藥學科、理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科、鑛物學科並ニ農科大學志望者ニ課スヘキ動物及植物ノ授業時數左ノ如シ

工科大學及理工科大學ノ土木工程學科、機械工學科、電氣工學科、採鑛及冶金學科、工科大學ノ造船學科、建築學科、理科大學及理工科大學ノ數學科、物理學科、理科大學ノ星學科並ニ農科大學ノ農學科、農藝化學科、林學科志望者ニ課スヘキ測量ノ授業時數左ノ如シ

動物及植物	講義	四	六
實驗	二	四	六
學科	學年	第一	第二
測	量	三	三

隨意科トシテ醫科大學ノ藥學科、理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科、鑛

第七條 學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ分科大學某科志望者ニ課スヘキ一學科若クハ數學科ヲ其學校ニ置カサルコトヲ得

附則

第八條 本令ハ明治三十三年九月一日ヨリ施行ス

第九條 本令施行ノ際現ニ第二年又ハ第三年ノ課程ヲ修ムル者ニ就キテハ其卒業ニ至ルマテ文部大臣ノ許可ヲ受ケ舊規定ニ依リ若クハ新舊ノ規程ヲ斟酌シテ之ヲ教授スルコトヲ得

第四官制

勅令第八十六號明治二十六年〔明治四十年六月二十八日勅令〕
八月二十四日〔第二百四十六號ヲ以テ改正〕

文部省直轄諸學校官制(抄)

一 文部省直轄學校ニ左ノ職員ヲ置ク
校長

教授

生徒監

助教授

書記

一 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

一 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

一 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

一 生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

一 生徒監ハ校長ノ指揮ヲ承ケ専ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル

一 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ雇外國人ヲシテ教官ノ職務ニ當ラシムルコトヲ得

勅令第三百三十四號(抄) 明治四十三年(大正四年)八月九日勅令第五百十三號(大正五年)三月二十六日(大正六年)六月三十日勅令第七十四號ヲ以テ改正

高等官々等俸給令(抄)

第一條 親任式ヲ以テ叙任スル官ヲ除クノ外高等官ヲ分テ九等トス親任式ヲ以テ叙任スル官及一等官二等官ヲ勅任官トシ三等官乃至九等官ヲ奏任トス

第四條 初メテ高等文官ニ任セラル、者ノ官等ハ六等以下トス

高等文官ニシテ退官シタル者再ヒ高等文官ニ任セラル、場合ニ於テハ其ノ官等ハ前官ノ官等以下トス但シ前官官等在職年數二年ヲ超エタル者ハ前官ノ官等ニ一等ヲ進ムルコトヲ得

前官ノ官等七等以下ナルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス陞シテ六等官ニ至ルコトヲ得

第五條 高等文官ノ官等ハ別ニ進級ノ例ヲ定メタルモノ及七等以下ノモノヲ除キ在

職二年ヲ超ユルニ非サレハ陞叙スルコトヲ得ス

第九條ノ五

文部省直轄諸學校長ニシテ十五年以上高等官二等ニ在リ功績顯著ナル者ハ高等師範學校長女子高等師範學校長ヲ通シテ一人實業專門學校長二人醫學專門學校長一人高等學校長其他ノ直轄學校長ヲ通シテ一人ヲ限リ特ニ高等官一等ニ陞叙スルコトヲ得

第十條 (第三項)

文部省直轄諸學校教授ニシテ五年以上高等官三等ニ在リ功績アル者ハ三十七人ヲ限リ高等官二等ニ陞叙スルコトヲ得但シ各校二人ヲ超ユルコトヲ得ス

第十三條 別表第二表(中略)第五號ニ依ルモノハ高等官三等以下トス

第二十二條 別表第二表第五號ニ依ル諸官左ノ如シ

(中略)

文部省直轄諸學校教授

(下略)

第二十三條 (第一項 別表第二表(中略)第五號ニ依ル職員ハ一級俸ヲ受ケ在職五年以上ニ至リ功績アル者ニ限リ五百圓以内ノ年功加俸ヲ給スルコトヲ得

(第三項)

第五號ニ依ル諸官及奏任技術官ハ各廳事務ノ繁閑ニ依リ俸給最低額以下ヲ給スルコトヲ得

(別表)

第一表 文武高等官々等表(抄)

勅	任	奏	任
二	等	三	等
		四	等
		五	等

文部省直轄諸學校校長
(東京盲學校長、東京聾啞學校長ヲ除ク)

第二表 奏任文官年俸表 (文部省直轄學校教授)

級	俸	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級
第五號	11,000円	11,700円	12,400円	13,100円	13,800円	14,500円	15,200円	15,900円	16,600円	17,300円	18,000円	18,700円	19,400円

第五表 (抄)

官名	等級	俸
文部省直轄諸學校校長 (東京盲學校長、東京聾啞學校長ヲ除ク)	一級	11,700円
	二級	11,000円
	三級	11,700円
	四級	11,200円
	五級	11,100円

勅令第五十四號 明治四十三年三月二十六日

文部省直轄諸學校教官俸給ノ支給ニ關スル件

第一條 文部省直轄諸學校教官ノ俸給ハ其ノ授業ノ時間又ハ學科ノ難易輕重ニ依リ

最低額以下ヲ給スルコトヲ得

第二條 文部省直轄諸學校教官ニシテ一校又ハ數校ノ教官ヲ兼任スル者ニハ本官及兼官ニ於ケル授業ノ時間又ハ學科ノ難易輕重ニ依リ其ノ俸給額ヲ分割シテ各學校ヨリ給スルコトヲ得

第三條 文部省直轄諸學校ノ囑託講師ニハ教官俸給額ノ中ヨリ相當ノ手當ヲ給スルコトヲ得

第四條 前三條ノ規定ハ北海道帝國大學農科大學附屬大學豫科、土木工學科、林學科水産學科又ハ臨時教員養成所ノ教授又ハ講師ニ之ヲ準用ス

第七 直轄諸學校長生徒監特別任用令

勅令第百十三號(抄) 明治三十年(明治三十六年十二月四日勅令) 四月廿七日 第二百六十七號ヲ以テ改正

文部省直轄諸學校長ハ一箇年以上奏任教官ノ職ニ在リタル者ニ限り同生徒監ハ左ニ掲クル者ニ限り試験ヲ要セス文官高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ任用スルコトヲ得

- 一 一箇年以上奏任教官又ハ奏任官待遇ノ教職ニ在リタル者
- 二 三箇年以上判任教官又ハ判任待遇ノ教職ニ在リタル者

第八 學校長職務規程

直轄諸學校長職務規程 明治卅三年(明治卅九年八月十日同四十四年四月十一日同年八月廿四日同四十四年四月十八日大正二年六月二十三日改正)

第一條 校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得

第二條 校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第三條 左ノ事項ハ校長之ヲ專行スヘン但シ第六號及第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ

第一 教官ノ學科擔任及事務員ノ分課ヲ定ムルコト

第二 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト

第三 俸給月額四拾圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト

第四 教官以下ノ内國各地出張ニ關スルコト

第五 教官以下ノ除服出仕請假ニ關スルコト

第六 講師ノ解囑及其報酬減額ニ關スルコト

第七 經費中ノ目ヲ流用スルコト

第八 三日以内ノ臨時休業ヲ爲スコト

第四條 前條ニ掲ケタルモノノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

第九 生徒身體檢查規程

文部省令第四號(抄) 明治三十三年三月二十六日 明治三十七年九月十日省令第十八號同四十一年三月二十

三月二十六日 六日省令第十三號同四十五年一月省令第一號ヲ以テ改正

學生生徒身體檢查規程(抄)

一 學生生徒ノ身體檢查ハ毎年四月ニ於テ之ヲ施行スヘシ

學校長ニ於テ必要ト認ムルトキハ學生生徒ニ就キ臨時身體檢查ノ全部若クハ一部

ヲ施行スルコトヲ得

二 明治三十一年勅令第二號第一條第二項ニ依リ學校醫ヲ置カサル町村立學校及私立ノ小學校及各種學校ハ本令ノ身體檢查ヲ行ハサルコトヲ得

三 身體檢查ハ學校醫ヲシテ之ヲ行ハシムヘシ但シ學校醫ヲ置カサル場合ニ於テハ他ノ醫師ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

四 身體檢查ハ左ノ項目ニ就キ施行スヘシ

一身 長 二體 重 三胸 圍 四脊 柱 五體 格 六視 力

七眼 疾 八聽 力 九耳 疾 十齒 牙 十一疾 病

小學校生徒ニ在リテハ視力及聽力ノ二項目ヲ檢查スルコトヲ要セス但シ著シキ障害アリト認ムルモノハ此限ニアラス

五 身體檢查ハ左ノ各號ニ準據シテ施行スヘシ

一 檢查ノ表記ニハ度ハ尺、衡ハ貫ヲ以テ單位トシ四捨五入法ヲ用ヒテ度ハ分、衡

- ハ夕ニ止ムヘシ
- 三身長ヲ測定スルニハ足袋靴等ヲ脱セシメ兩蹠ヲ密接シテ直立シ兩上肢ヲ鉛直ニ垂レ頭部ヲ正位ニ保タシムヘシ
- 三體重ハ着衣ノ儘測定シタルトキハ其着衣ノ重量ヲ全重量ヨリ除去スヘシ
- 四胸圍ハ兩上肢ヲ鉛直ニ垂レ自然ノ位置ニ在ラシメ乳頭ノ水平線ニ於テ常時ヲ測定スヘシ充盈空虛ノ左ヲ測定スルトキ亦同シ
- 五脊柱ハ正、左彎、右彎、前屈、後屈ヲ検査シ屈彎ニ就キテハ其程度ニ依リ各強中弱ノ三種ニ區別スヘシ
- 六體格ハ強健、中等、薄弱ノ三等ニ區別スヘシ
- 七視力ハ中心視力ノ兩眼ニ就キテ各別ニ検査スヘシ
- 八聽力ハ其ノ障害ノ有無ヲ検査スヘシ
- 九齒牙ハ齶齒ニ就キ検査スヘシ

十疾病ハ腺病、營養不良、貧血、脚氣、肺結核、頭痛、衄血、神經衰弱、鼻疾、咽喉病、傳染性皮膚病其ノ他慢性疾患等検査ノ際ニ發見シタルモノヲ記入スヘシ

前各號ノ外身體検査上必要ト認メタル事項ハ特ニ検査ヲ行フヘシ

六身體検査ヲ施行シタルトキハ左ノ様式ニ依リ身體検査票ヲ調製スヘシ

(票ノ様式略ス)

七身體検査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ各本人ニ關スル検査ノ結果ヲ學生、生徒又ハ其保護者ニ示スヘシ

八身體検査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ左ノ様式ニ依リ統計表ヲ調製シ翌月限リ文部省直轄學校長ニ在リテハ文部大臣ニ其他ノ學校ニ在リテハ地方長官ニ報告スヘシ (表ノ様式略ス)

第十 大學豫科入學者資格

文部省令第九號 明治四十一年三月十九日

高等學校大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ且體格検査ヲ受ケ之ニ合格シタル者タルヘシ

一 中學校ヲ卒業シタル者

二 專門學校入學者檢定規程ニ依ル試験檢定ニ合格シタル者

三 專門學校入學者檢定規程第八條第一號ノ指定ヲ受ケタル者但シ某學校ノ入學ニ限リ指定ヲ受ケタル者ヲ除ク

明治二十七年文部省令第十六號ハ之ヲ廢止ス

文部省告示第二百十三號 明治四十三年(明治四十五年五月十八日)九月六日(告示第五百五十四號ヲ以テ改正)

同一人ニシテ東京帝國大學農科大學農學實科、同林學實科、同獸醫學實科、北海道帝國大學農科大學大學豫科、同附設農學實科、同附設土木學科、同附設林學科、同附設水產學科東北帝國大學附屬工學專門部並文部省直轄諸學校中ノ二箇以上ノ學科

專門部若ハ學校ニ入學ヲ出願シタル者ハ其最前ニ入學ヲ許可セラレタル學科專門部

若ハ學校ニ入學スヘキモノトス但シ同時ニ二箇以上ノ學科若ハ學校ニ入學ヲ許可セ

ラレタル者ノ入學スヘキ學科專門部若ハ學校ハ本人ノ選擇ニ任ス(本文入學許可ノ前後ハ區別スヘキ旨明治三十八年八月二日十四日專門學務局長ヨリ通牒アリ)

文部省令第十八號 明治三十八年十月二十八日

文部省直轄諸學校ノ生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケス他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試験ヲ受ケタルトキハ其入學試験ハ無効トス

第十一 高等學校大學豫科入學者選抜試験規程

文部省令第四號 大正六年四月二十七日改正

高等學校大學豫科入學者選抜試験規程

第一條 選抜試験ハ各高等學校ヲ通シ入學志望者ノ數入學セシムヘキ人員ニ超過シタルトキ之ヲ行フ

第二條 各高等學校ニ入學セシムヘキ生徒ノ概數選拔試驗ニ關スル細目及出願ノ手續等ハ文部大臣之ヲ告示ス

第三條 選拔試驗ノ學科目ハ中學校ノ學科目(法制及經濟、實業、唱歌ヲ除ク)中ニ就キ文部大臣之ヲ選定ス

前項ノ試驗ハ中學校卒業ノ程度ニ據ル

第四條 選拔試驗ハ各高等學校ニ於テ同時ニ之ヲ行フ

第五條 入學志望者ハ其ノ入學後修業セントスル部類及入學セントスル高等學校ヲ指定スヘシ

指定スヘキ部類ハ左ノ如シ

- 第一部甲類 法政經濟科 英語ヲ主トスルモノ
- 第一部乙類 文科 英語ヲ主トスルモノ

第一部丙類

法政文科

獨語ヲ主トスルモノ

第一部丁類

法政文科

佛語ヲ主トスルモノ

第二部甲類

工科

第二部乙類

理農醫科ノ内藥學科

第二部丙類

農科

第三部

醫科

入學志望者ハ志望ノ類(同一部内ノ類ニ限ル)及志望ノ學校ニ箇以上ヲ併セ指定スルコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ志望ノ類及志望ノ學校ニ就キ各其ノ志望ノ順位ヲ定ムヘシ

第六條 入學ヲ許可スヘキ者ハ左ノ方於ニ依リ之ヲ定ム

一、高等學校ヲ通シ各部毎ニ其ノ部ニ入學セシムヘキ人員ノ總數ト同數ノ人員ヲ試驗ノ成績順ニ依リ選出ス

- 二、前號ノ場合ニ於テ試験成績相同シキトキハ抽籤ニ依ル
- 三、前號ニ依リ選出セル人員ニ就キ試験ノ成績順ニ依リ第一部又ハ第二部ノ志望者ニ在リテハ本人ノ指定スル第一ノ志望類ニ基キ第一ノ志望學校ニ第三部ノ志望者ニ在リテハ本人ノ指定スル第一ノ志望學校ニ配當ス
- 四、前號ノ場合ニ於テ試験成績相同シキトキハ抽籤ニ依ル
- 五、第三號及第四號ニ依リ配當ノ結果本人ノ指定スル第一ノ志望學校已ニ滿員トナリタル場合ニ於テハ更ニ成績順ニ依リ本人ノ指定スル第二ノ志望學校ニ配當ス
- 六、前號ノ場合ニ於テ試験ノ成績相同シトキハ抽籤ニ依ル
- 七、第五號及第六號ニ依リ配當ノ結果本人ノ指定スル第二ノ志望學校已ニ滿員トナリタル場合ニ於テハ更ニ其第三以下ノ志望學校ニ就キ第五號及第六號ニ準シ配當ス

- 八、第一部又ハ第二部ノ志望者ニ在リテハ本人ノ指定スル第一ノ志望類カ志望學校ニ於テ悉ク滿員トナリタルトキハ更ニ本人ノ指定スル第二以下ノ志望類中缺員アルモノニ之ヲ配當ス其ノ方法ハ第三號乃至第七號ニ準ス
 - 九、本人ノ志望スル類及學校悉ク滿員トナリタルトキハ入學スルコトヲ得サルモノトス
- 前項ニ依リ配當ノ結果又ハ事故ノ爲メ入學者ニ缺員ヲ生シタルトキハ入學スルコトヲ得サリシ者ニ就キ更ニ前項ノ方法ニ依リ之ヲ補填ス
- 第七條 第一高等學校ノ第三部ニ於テ獨語ヲ以テ選抜試験ノ外國語ト爲ス者ニ限リ入學セシムル場合ハ前條ノ關係ニ於テ之ヲ一ノ部ト看做ス
 - 第八條 前二條ニ依リ決定シタル入學者學校及部類ハ官報ニ掲載シ且ツ本人ニ通知ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十二 高等學校大學豫科入學者選拔試驗無試驗檢定規程

文部省第五號 大正六年四月
二十七日改正

高等學校大學豫科入學者選拔試驗無試驗檢定規程

第一條 高等學校大學豫科各部ノ入學志望者入學セシムヘキ人員ニ超過シタルトキハ各高等學校ハ入學セシムヘキ人員ノ二十分ノ一以内ニ限り無試驗檢定ニ依リ入學志望者ノ入學ヲ許可スルコトヲ得

第二條 無試驗檢定ヲ受ケントスル者ハ左ノ資格ヲ有シ其卒業シタル中學校ノ校長ノ推薦シタル者ニ限ル

一 品行方正ニシテ體格強健ナルコト

二 無試驗檢定ヲ受ケントスル年ニ於テ中學校ヲ卒業シタルコト

三 第三學年以上繼續シテ同一中學校ニ在學シタルコト

四 第三學年以上ノ學業成績左ノ標準ニ該當スルコト

(イ) 第三學年及第四學年ニ於ケル學業成績其ノ及第者總數ノ四分ノ一以内ニ相當スル順位ニアリタルコト

(ロ) 卒業ノ時ニ於ケル學業成績其ノ卒業者總數ノ十分ノ一以内ニ相當スル順位ニアリタルコト

第三條 前條ノ資格ヲ有スル入學志望者ヨリ請求アリタルトキハ當該中學校長ハ左ノ様式ニ依リ推薦書ヲ調製シ入學出願期限内ニ檢定ヲ受ケントスル高等學校ノ校長ニ提出スヘシ

様式 (様式ハ略ス)

第四條 前二條ノ規定ハ專門學校入學者檢定規程第八條第一號ノ指定ヲ受ケタル者ニ關シ之ヲ準用ス

第五條 無試驗檢定ハ檢定ヲ受ケントスル高等學校ニ對シ高等學校大學豫科入學出

願手續ヲ完了シタル者ニ限り之ヲ行フ

第六條 無試験檢定ニ依リ入學ヲ許可セスト決定シタル者ハ前條ノ出願ニ依ニ選抜試験ヲ受クルモノトス

第七條 無試験檢定ニ依リ入學ヲ許可セラレタル者ハ更ニ選抜試験ヲ受クルコトヲ得ス

第八條 第三條ノ推薦書ハ一箇ノ高等學校ニ限り之ヲ提出スルコトヲ得
前項ニ違反シタル場合ニ於テハ其無試験檢定ハ之ヲ無効トス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十三 行幸啓ノ節學生生徒敬禮方

文部省訓令第十八號 明治四十三年(明治四十四年七月十二日訓令第十一號大)八月二十六日(正五年十月九日訓令第五號ヲ以テ改正)

行幸啓ノ節學生生徒敬禮方

一 武装携銃ノ場合

學校長及職員ハ全隊ノ右翼ニ指揮者ハ各中隊ノ右翼ニ位置シ豫メ劍ヲ銃ニ裝セシメ前驅ノ見エタルトキ「氣ヲ付ケ」ノ號令ヲ下シ直立不動ノ姿勢ヲ取ラシム御車カ中隊ノ右翼約十歩ニ近キタルトキ「捧銃」ノ號令ニテ一齊ニ捧銃ヲナサシメ御車カ中隊ノ左翼約十歩ヲ過キタルトキ元ノ姿勢ニ復セシム

御車カ中隊ノ左翼ヨリ通過スルトキハ學校長、職員及指揮者ハ左翼ニ位置ス

二 武装セサル場合(女生徒ヲ含ム)

學校長及職員ハ全列ノ右翼ニ指揮者ハ各組ノ右翼ニ位置シ前驅ノ見エタルトキ「氣ヲ付ケ」ノ號令ヲ下シ一齊ニ脱帽セシメ直立不動ノ姿勢ヲ取ラシム御車カ指揮者ノ前ニ達シタルトキ「禮」ノ號令ニテ敬禮セシメ(體ノ上部ヲ約三十度前方ニ屈シ御車ニ注目セシム)「直レ」ノ號令ニテ元ノ姿勢ニ復セシム

御車カ組ノ左翼ヨリ通過スルトキハ學校長、職員及指揮者ハ左翼ニ位置ス

第十四 在學證明書ニ關スル規程

文部省令第三十九號 明治三十六年十二月二十六日

徵兵事務條例第五十五條ニ依リ學校長ノ交付スル在學證明書ニ關スル規程

第一條 徵兵事務條例第五十五條ニ依リ學生生徒ニ在學證明書ヲ交付スルトキハ左ノ書式ニ據ルヘシ

在學證明書

番 號

原 籍

在學ノ學科及學年
入學ノ年月日

氏 名

生 年 月 日

徵兵事務條例第五十五條ニ依リ在學ヲ證明ス

學 校 所 在 地

年 月 日

何々學校長 氏 名 印

第二條 學校長ハ在學證明書交付名簿ヲ調製シ前條ノ證明書ヲ交付スルトキハ證明書ノ番號ヲ該名簿ニ記入シ且證明書ト名簿トニ割印ヲナスヘシ

第三條 卒業若クハ退學等ニ依リ第一條ノ證明書ヲ交付シタル學生生徒ノ學籍ヲ除

キタルトキハ學校長ハ其ノ除籍ノ事由及年月日ヲ十四日以内ニ原籍地ノ市長 北海道、沖繩縣、東京市、京都市町村制ヲ施行セサル地方ニ在及大阪市ニ在リテハ區長町村長ニ準スヘキ者ニ通知スヘシ

第十五 大學豫科學力檢定試驗規程

文部大臣訓令 明治二十六年(明治二十八年七月十六日訂正)

高等學校ノ卒業生ニアラスシテ帝國大學分科大學へ入學志願ノ者アルトキハ別紙規程ニ依リ大學豫科學力檢定試驗ヲ施行スヘシ

別紙

大學豫科學力檢定規程

第一 大學豫科學力檢定試驗ハ帝國大學分科大學ヨリ其入學志願者ノ學力檢定試

- 驗執行ノ通告アル場合ニ限り高等學校ニ於テ施行スルモノトス
- 第二 大學豫科學力檢定試験ハ高等學校大學豫科卒業ノ程度ニ依ル
但官立府縣立中學校又ハ之ト同等ト認ムヘキ公私立中學校ノ卒業證書ヲ
有セサル者ニハ先ツ中學校ノ學力檢定試験ヲ行フモノトス
- 第三 大學豫科學力檢定試験ハ毎年七月又ハ九月ニ於テ一回之ヲ施行ス
- 第四 大學豫科學力檢定試験ヲ受ケントスル者ハ受験料金五圓ヲ納ムヘシ
但既納ノ受験料ハ受験者ノ都合ニ依リ試験ヲ受ケサルコトアルモ返付セ
ス
- 第五 試験合格者ニハ左式ノ證明書ヲ交付スヘシ

(證明書略ス)

第十六 專門學校入學者檢定規程

文部省令第十四號 明治三十六年
三月三十一日

專門學校入學者檢定規程(抄)

- 第一條 專門學校ノ本科ニ入學セントスル者ニシテ中學校(中略)ヲ卒業セサル者ハ
此規程ニ依リ檢定ヲ受クヘキモノトス
- 第二條 檢定ヲ受ケントスル者ハ左ノ資格ヲ具備スルコトヲ要ス
- 一 年齢男子ハ滿十七年以上(中略)ナルコト
 - 二 身體健全ナルコト
 - 三 品行方正ナルコト
 - 四 現ニ中學校(中略)ニ在學セサルコト
- 第三條 檢定ヲ分テ試験檢定、無試験檢定ノ二トシ試験檢定ハ官立公立ノ中學校(中
略)ニ於テ便宜之ヲ行ヒ無試験檢定ハ當該專門學校ニ於テ生徒入學ノ際之ヲ行フ
- 第四條 試験檢定ノ學科目及其ノ程度ハ中學校(中略)ノ各學科目及其ノ卒業ノ程度
トス(以下略)

第五條 官立公立ノ中學校(中略)ニ於テハ試験檢定ニ合格シタル者ニハ試験檢定合格證書ヲ交付スヘシ

第八條 左ニ掲クル者ハ無試験檢定ヲ受クルコトヲ得

一 文部大臣ニ於テ専門學校ノ入學ニ關シ中學校(中略)ノ卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタル者

第十七 外國人特別入學規程

文部省令第十五號 明治三十四年十一月十日

文部省直轄學校外國人特別入學規程

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ

一科若クハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限り特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介ヲ添ヘ帝國大學總長若

クハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若クハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限り之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニアラス

第四條 本令ノ規程ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ハ試験ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試験料入學料及授業料ヲ徴收セサルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

附 則

第七條 本令施行ノ際文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス在學スル外國

人ハ本令ニ依リ入學シタル者ト見做ス

第八條 明治三十三年文部省令第十一號文部省直轄學校外國委託生ニ關スル規程ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

文部省令第十六號 明治四十四年四月四日

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若ハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

(朝鮮留學生監督ノ紹介ヲ以テ總督府ノ紹介ト看做スコトニ明治四十四年十月六日官普一〇四號ヲ以テ通牒アリ)

(臺灣留學生監督ノ紹介ヲ以テ總督府ノ紹介ト看做スコトニ大正元年十一月十六日付普二三六號ヲ以テ通牒アリ)

○第二章 沿革略

本校ハ明治二十七年六月高等學校令ノ發布ニ依リ第二高等中學校ヲ改稱シタルモノニシテ今遡リテ其沿革ヲ舉ケンニ明治十九年四月中學校令ヲ發布セラレ全國ヲ五區ニ分割シ每區ニ一ノ高等中學校ヲ設置スレコトニ定メラレ其第二區ノ設置區域ハ即チ宮城福島岩手青森山形秋田ノ六縣ニシテ第二區ノ高等中學校ノ位置ヲ仙臺ニ定メラレ明治二十年四月ニ至リテ創設セラレタルモノナリ同月文部省參事官吉村寅太郎學校長ニ任セラレ七月本校假事務所ヲ宮城縣尋常中學校ニ設ケ八月荒町尋常小學校内ニ移ス同月中學校令第五條ニ依リ明治二十一年度高等中學校經費ハ國庫ト地方稅トノ支辨トシ本校設置區域内各縣地方稅ノ負擔總額ヲ貳萬五千圓ト定メラル同月高等中學校ノ醫科ヲ教授スル所ヲ醫學部トセラレ本校ノ醫學部ヲ仙臺ニ置カル九月始メテ本校ノ授業ヲ開ク同月醫學部ノ學科及其程度ヲ定メラル同二十一年一月當分ノ内豫科補充生ヲ置キ尋常中學校第二年級ノ學科程度ニ依リ授業スルコト、ス同月岡

山縣醫學校教諭山形伸藝本校教諭ニ任セラレ醫學部主事ヲ命セラルル二月仙臺區片平丁元陸軍省用地ヲ本校敷地ニ定メラルル四月本校ヲ宮城縣尋常中學校跡ニ移轉シ醫學部ヲ宮城醫學校跡ニ開設ス同月始メテ醫學部ノ教授ヲ開ク七月本校新築ノ工事ヲ起ス八月高等中學校經費ハ來廿二年度以降地方稅ノ分擔ヲ止メテラル

同二十二年二月二十二日

天皇 兩陛下ノ御眞影ヲ下附セラルル八月本部及醫學部ヲ片平丁新築校舍ニ移ス

同二十三年二月醫學部ニ於テ本學年限リ豫科ヲ設置ス三月官立學校及圖書館會計法ノ公布ニヨリ本校亦資金ヲ有シ政府ノ支出金資金ヨリ生スル收入授業料寄附金及其他ノ收入ヲ以テ歲出ニ充ツルヲ許サレ特別ノ會計ヲ立テシメラルル八月醫學部ニ藥學科ヲ附設セラルル十月三十日教育ニ關スル 勅語ヲ下賜セラレ十二月二十七日特ニ御親署ノ勅語ヲ拜受ス

同二十四年十月開校式ヲ舉行シ兼テ醫學部生徒ノ卒業證書授與式ヲ行ヒ二十二年及

二十三年ノ卒業生ニ卒業證書ヲ授ク

同二十五年六月本校所有地積合計參萬貳千貳百七拾參坪四合壹勺及之ニ建設セル建物合計參千四百八拾貳坪五合貳勺ヲ本校資金ニ編入セラルル同月本部ニ和漢文學、英文學、數學、理學及體育ノ五學部ヲ設ケ各其主任ヲ置ク七月本部ニ於テ始メテ本科卒業證書授與式ヲ行フ同月補充科二學級中其第一年級ヲ廢ス九月寄宿舎ヲ開設シ舎監及寄宿舎係ヲ置ク

同二十六年四月本校建物十一坪一合五勺ヲ本校資金ニ交付セラルル六月本科二部學科中農學科及林學科志望生ニ課スル學科ヲ増設ス七月豫科補充生ヲ全廢ス十月本校ノ建物四十五坪ヲ資金ニ交付セラル

同二十七年五月諸規則ヲ改定ス六月高等學校令ヲ公布セラレ第二高等學校ト改稱ス同月毎年十月二十六日ヲ以テ本校記念日ト定ム九月英文學部ヨリ獨逸語學ヲ分離シテ之ヲ一學部トナシ又醫學科及藥學科ノ學科課程ヲ定ム同月第三高等學校ヨリ本校

ニ移學スル生徒八十餘名アリ校舍狹隘ヲ告ケタルヲ以テ寄宿舎ヲ廢シ圖書室博物室事務室等ヲ該舎内ニ移ス十月大學豫科ノ學科課程ヲ定ム十一月諸規則ヲ改正ス
同二十八年五月醫學藥學得業士ノ稱號ニ關スル規程ヲ定ム八月大學豫科ノ課程ヲ改定ス九月校務分掌規程ヲ更定シ十月再ヒ之ヲ更正ス
同二十九年六月明治三十年四月以降ハ大學豫科ノ生徒ヲ入學セシムルニ高等中學校設置區域ニ依ラサルコトニ改メラル八月醫學部藥學科課程並ニ藥學科卒業證書式中更正ス九月自今倫理科ハ別ニ講筵ヲ開クコトヲ廢シ每學期ノ始メ 勅語奉讀式ヲ行ヒ學校長ヨリ生徒ノ居常服膺スヘキ條件ヲ演達シ平常ハ各教員ヨリ倫理ニ關スル事項ヲ懇諭シ又必要ナル場合ニハ臨時ニ生徒ヲ集メテ訓戒ヲ與フルコト、ス同月専門學務局長ヨリ來三十一年以降各分科大學各學科ニ入學志望者豫定人員ニ超過スル場合ニ於テハ競争試驗ヲ行フヘキ旨通牒アリ十二月同局長ヨリ競争試驗ノ結果ニ由リ入學スルコトヲ得サル者ノ取扱方ニ付通牒アリ同月本校規則中通則及醫學部豫科入

學試業規程ヲ更正ス

同三十年一月學校清潔方法ノ標準ヲ定メラル三月醫學部主事山形仲藝獨國留學ヲ命セラレタルニヨリ教授内田守一醫學部主事心得ヲ命セラル四月學校長吉村寅太郎文部省參事官ニ轉任シ澤柳政太郎學校長ニ任セラル五月醫學部藥學科卒業試問ノ學科中ニ化學ヲ加ヘ該科目ヲ卒業證書ニ記入スルコト、ス七月本校規則中通則及大學豫科試業進級規程ヲ更正ス八月醫學科課程表中ニ細菌學ヲ加フルコト、ス十一月新築工事ノ内博物及地質鑛物圖書敬室落成ス十二月仙臺市東三番丁附屬地(宮城病院)臨床講義室新築落成ス

同三十一年三月圖書測量室新築落成ス四月當校圖書館規則ヲ改正ス六月大學豫科第一部ノ學科課程ヲ定ム同月本年ノ大學豫科第一年級ニ入學セシムヘキ豫定人員ヲ達セラル七月學校長澤柳政太郎第一高等學校長ニ轉任シ菊池謙二郎學校長ニ任セラル八月本校通則中ノ改正ヲナシ並ニ醫學部大學豫科入學試業規程ヲ廢止ス又寄宿舎設

置並ニ規則ヲ認可セラルル九月大學豫科第三部ノ授業ヲ開始ス十月寄宿舎ヲ開始ス同月新築工事ノ内醫學部生理病理ノ二教室落成シタルニ付大學豫科教室ヲ其跡ニ設ク十二月醫學部組織學教室新築落成ス

同三十二年五月本年ノ大學豫科第一年級ニ入學セシムヘキ豫定人員ヲ達セラルル同月直轄學校一覽ノ編纂要目及進達期限ヲ達セラルル六月本校規則休學規程中改正ス七月教授醫學部主事山形仲藝歸朝セシニヨリ教授内田守一醫學部主事心得ヲ免セラルル同月ヨリ一週二回倫理學ノ講義ヲ開キ醫學部生徒大學豫科生徒ニ各一回宛聽講セシムルコト、ス同月新ニ歴史理學部ヲ設ケ之カ主任ヲ置ク

同三十三年四月學校長菊池謙二郎休職ヲ命セラレ第五高等學校長中川元本校長ニ任セラルル五月本年大學豫科第一年級ニ入學セシムヘキ豫定人員ヲ達セラルル六月直轄諸學校長職務規程ヲ改正セラルル八月高等學校大學豫科學科規程ヲ改正セラルル九月當校大學豫科ニ於テ佛蘭語限定ノ件並ニ入學試驗ノ外國語ハ英語ニ限ル件許可セラルル同

月醫學部藥學科中衛生化學ノ内ニ於テ細菌學ヲ課スルコト、ス同月大學豫科第二年以上ノ生徒ニハ其卒業ニ至ルマテ舊規定ニ依リ教授スルコト、ス同月寄宿舎係事務要項并ニ大學豫科教務規程ヲ改正ス十二月本校規則中通則及大學豫科課程ヲ改正ス同月本校物品檢閱假規程ヲ制定ス

同三十四年三月年報取調條項中改正セラルル四月醫學部ヲ分立シテ仙臺醫學專門學校ト改稱セラレ尋テ本校職員ノ定員ヲ改正セラルル五月本年ノ新募集人員ヲ達セラレ又商議委員規程ヲ廢セラルル六月授業料額ヲ改正ス九月試業規則ヲ改正ス十一月宮城縣下ニ於テ陸軍特別大演習ヲ施行セラレ 陛下御統監アラセラル、ニ付當校へ御臨幸ヲ仰キ奉リシニ同月十日午後 彰仁親王殿下御臨校アラセラル

同三十五年四月第三臨時教員養成所ヲ本校内ニ設置セラルル六月本校生徒ノ略帽ヲ定ム九月寄宿舎ヲ廢シ校務分掌規程ヲ改正シ生徒監督係ヲ置ク十月生徒通學規程ヲ定ム

同三十六年四月高等學校大學豫科入學者選拔試驗規程ヲ定メラル十月柔道及擊劍ヲ體操科ノ副科トシテ課スルコト、定ム十二月文部省令第三十九號ヲ以テ徵兵事務條例ニヨリ學生生徒ニ交付スヘキ在學證明書書式ヲ定メラル

同三十七年一月徵兵令上ノ特典ヲ有スル學校ノ取締ニ關シ訓令セラル同月告示第十六號ヲ以テ大學豫科入學者選拔試驗規程中改正セラル二月宣戰ニ付教育ニ從事スル者ノ心得方ヲ訓令セラル同月內務省令第一號ニ據リ肺結核豫防法ヲ實施ス三月教室一棟新築落成ス五月告示第一百十九號ヲ以テ大學豫科入學者選拔試驗規程中改正セラル同月本校生徒ノ服制中夏服ヲ改正ス七月東京帝國大學ニ御臨幸ノ節文部大臣ヲ召サセラレ教育ノ事ニ關シ深厚ナル御沙汰ヲ賜リタルニ付特ニ訓令ヲ發セラレタル趣旨ヲ職員生徒ニ訓示ス十月時局ニ關シ內閣總理大臣ヘ勅語ヲ賜リタルニ付特ニ文部大臣ヨリ合達セラル十一月本校規則中第二款並ニ第五款中改正ス

同三十八年九月本校規則中第四款卒業證書式ヲ改正シ又第六款特待生規程ヲ廢ス同

月都下ノ物情ニ付文部大臣ノ訓令アリ十月文部省令第十八號ヲ以テ文部省直轄諸學校生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケス他ノ直轄學校ノ入學試驗ヲ受ケタルトキ其試驗ハ無効トスル旨達セラル

同三十九年六月文部省訓令第一號ヲ以テ學生生徒ノ風紀振肅ニ關スル件訓令セラル十二月防火警備心得ヲ改定ス同月當校生徒端艇競漕用運動場敷地トシテ陸前國宮城郡鹽釜町大字鹽釜小字杉ノ入表國有林(舊地目草山)ヲ文部省所管ニ地種組替ヲ了ス

同四十年二月本校々舎ノ一部ヲ二月十八日ヨリ同三月三十一日マテ仙臺高等工業學校ヘ貸付ス四月文部大臣ヨリ地方長官ヘ生徒中外國人ニ對シ禮節ヲ缺キ或ハ粗野ノ言行ヲ敢テスルカ如キハ累ヲ國交上ニ及ホス其害甚大ナリ平素此ノ如キ點ニ付尙一層戒慎ヲ加フヘキ件訓令アリタルヲ以テ右同様注意スヘキ旨文部次官ヨリ通牒アリ

五月文部省普通學務局長ヨリ各地方長官ニ對シ單ニ徵集ヲ猶豫セラレムカ爲ニノミ學校ニ籍ヲ置クモノ、取締方ニ關シ通牒セラレタルヲ以テ其旨更ニ通牒アリ六月勅

令第二百四十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正ニ關シ教官及生徒監ノ職務ニ就キ文部大臣ノ訓令アリ七月生徒寄宿舎規則ヲ制定ス八月帝國ト露國トノ關係ニ就キ國交ノ好誼ヲ損シ協約ノ精神ヲ誤ラサル様特ニ留意シ國民ヲシテ過去ノ感情ヲ脱シ善隣ノ誠ヲ以テ協約ノ精神ニ副ハシムルコトヲ期スヘキ件内閣總理大臣ヨリノ訓令ニ基キ能ク其精神ヲ體スヘキ旨文部大臣ヨリ訓令アリ

同四十一年二月化學教室一棟新築落成ス三月文部省告示第七十八號ヲ以テ三十六年文部省告示第八十四號高等學校大學豫科入學者選拔試驗規程ヲ廢止セラレ更ニ文部省令第九號ヲ以テ高等學校大學豫科入學者資格ヲ定メ併セテ二十七年文部省令第十六號高等學校ノ修業年限及入學程度ヲ廢止セラレ又同省令第十三號ヲ以テ三十三年省令第四號學生生徒身體檢查規程ヲ改正セラレ七月仙臺市片平丁四十番地ノ土地千六百坪四勺九才ヲ本校運動場トシテ司法省ヨリ管理換トナル九月學生ノ風紀其他教育上ノ時弊矯正方ニ關シ文部次官ヨリ注意ノ通牒アリ十月七日

東宮殿下當校ニ行啓器械標本陳列室及歴史教授ヲ台覽アラセラレ當日 殿下ノ御眞影ヲ下賜セラル同月十三日一般國民ニ對シ優渥ナル詔書ヲ下シ賜フ十二月物理實驗室一棟新築落成ス同月仙臺市片平丁四十四、四十五兩番地ノ内及四十一番地四十二番地四十三番地合計九百七坪二合六勺ノ民有地ヲ買收シテ運動場トナス

同四十二年一月直轄學校學生生徒ノ風紀ニ關スル訓令アリ四月勅令第八十八號ヲ以テ本校教授ノ定員ヲ改正セラレ又省令第十一號ヲ以テ高等學校大學豫科入學者選拔試驗規程ヲ定メラル五月本校規則中入學ニ關スル規則ヲ改正ス七月本校敷地貳萬六千百七坪八合三勺ノ内六千二百五十二坪ヲ東北帝國大學理科大學建設地トシテ文部省建築課仙臺出張所ニ引渡ヲ了ス八月運動場門番所一棟古河家ヨリ寄附ノ趣ヲ以テ文部省ヨリ引繼ヲ受ク同月文部省令第十九號ヲ以テ明治四十二年同省令第十一號高等學校大學豫科入學者選拔試驗規程中改正セラレ又同省令第二十號ヲ以テ明治三十三年同省令第十三號高等學校大學豫科學科規程中改正セララル九月文部省訓令第十三

號ヲ以テ直轄學校ノ德育ニ關スル訓令アリ十一月本校規則第三款學科課程表中改正ヲナシ同月行軍規程中行軍費金額ヲ改正ス十二月本校規則第四款追試驗出願期日ヲ定ム

同四十三年三月勅令第六十七號ヲ以テ本校專任教員ノ定員中助教授七人ヲ三人ニ改正セラレ同月勅令第三百三十四號ヲ以テ高等官官等俸給令ヲ改正セラレ同月勅令第三百三十五號ヲ以テ判任官俸給令ヲ改正セラレ同月勅令第五百五十四號ヲ以テ文部省直轄諸學校教官俸給ノ支給ニ關スル件ヲ公布セラレ四月十日直轄諸學校長職務規程第二條第一項第三號中改正セラレ同月文部省令第九號ヲ以テ明治三十三年省令第十三號高等學校大學豫科學科規程第五條第二部各學科每週授業時數表附記中改正セラレ同月本校職員服制ヲ改正ス五月煉瓦造三階建ノ書庫二十四坪建築竣工ニ付文部省ヨリ引繼ヲ受ク同月文部省告示第三百三十七號ヲ以テ本年各高等學校ニ入學セシムヘキ生徒ノ數及ヒ選拔試驗ニ關スル事項ヲ定メラル同月文部省令第十一號ヲ以テ高等學校

大學豫科入學者選拔試驗無試驗檢定規程ヲ定メラル同月本校規則第三款學科課程第五款第二部學科課程表中ニ水產科ヲ加フ六月木造建ノ元磁力計室一棟二十九坪七合五勺ヲ當校ニ管理組換ノ件許可セラレ八月文部省訓令第十八號ヲ以テ 行幸啓ノ節學生生徒ノ敬禮方ヲ定メラル九月文部省告示第二百十三號ヲ以テ同一人ニシテ帝國大學及文部省直轄諸學校中ノ二箇以上ノ學科若クハ學校ニ入學許可セラレタル者ノ入學ニ關シ改正セラレ同月本校規則第五款授業料中明治三十八年七月以前入學者ノ納金額ヲ削除シ且納付期日ヲ定メ又第七款寄宿舍寮費ヲ改正ス十一月文部省令第二十六號ヲ以テ明治三十三年文部省令第十三號高等學校大學豫科學科規程中倫理ヲ修身ト改正セラレ

同四十四年一月學校長中川元仙臺高等工業學校長ニ轉任シ教授三好愛吉學校長ニ任セラレ二月學校長三好愛吉第三臨時教員養成所教授ニ兼任セラレ四月圖書測量教室一棟新築竣工シ此工事ニ伴ヒ正門北側ニ在リシ門番所ヲ南側ニ移轉ス同月文部省告

示第四百四十七號ヲ以テ本年各高等學校ニ入學セシムヘキ生徒數及選拔試験ニ關スル事項ヲ定メラル五月本校規則第五款授業料及被服中改正ヲナシ授業料ヲ一學年金參拾五圓トシ併セテ規則第二款入學在學及退學第七款寄宿舍中改正ヲナシ且規則各款ノ條目ヲ通シテ第一條ヨリ第四百四條マテトナス七月勅令第二百十七號ヲ以テ高等中學校令ヲ公布セラレ同月文部省令第二十五號ヲ以テ高等中學校規程ヲ定メラル十一月行軍規程及校務分掌規程ヲ改正ス

同四十五年一月文部省令第一號ヲ以テ學生生徒身體檢查規程ヲ改正セラル二月圖書寄託規程ヲ定ム四月圖書閱覽室新築落成ス五月一日ヨリ圖書館夜間開館ヲ實施ス七月三十日 天皇陛下崩御アラセラレ皇太子殿下踐祚大正ト改元セラル

大正元年八月一日職員生徒出校 先帝ノ御眞影ヲ拜ス九月十三日御大葬儀ニ付職員生徒遙拜式ヲ執行ス十月二十六日本校創立二十五年記念式ヲ舉行ス十一月六日 明治天皇百日祭ニ付職員生徒遙拜式ヲ執行ス十二月本校規則並細則中改正ス

大正二年三月勅令第十八號ヲ以テ高等中學校令中改正セラレ本令施行ノ期日ハ文部大臣之ヲ定ムルコト、セラル四月本校職員心得ヲ定ム同月文部省告示第九十一號ヲ以テ從來本校内ニ置キタル第三臨時教員養成所ヲ大正二年四月ヨリ東北帝國大學内ニ置クコト、セラル五月本校生徒作法要項ヲ定ム同月本校物品會計細則ヲ定ム同月本校規則中入學料ノ金額ヲ改正ス六月本校事務協議會規程ヲ定ム同月直轄諸學校長職務規程ヲ改正セラル十月本校規則中ノ休日ニ天長節祝日ヲ加フ十一月本校規則中入學ニ關スル事項ヲ改正ス

同三年一月生徒總代規程ヲ定ム四月十一日 皇太后陛下崩御アラセラル四月文部省令第十八號ヲ以テ高等學校大學豫科入學者選拔試驗規程中改正セラル五月二十四日 昭憲皇太后御大葬儀ニ付職員生徒遙拜式ヲ執行ス六月生徒總代規程中改正ス同月勅令第二百二十四號ヲ以テ文部省直轄諸學校ノ名譽教授ニ關スル件ヲ公布セラル十一月本校規則中入學及制服ニ關スル事項ヲ改正ス

同四年四月學校長三好愛吉皇子傅育官長ニ轉任シ教授武藤虎太學校長兼教授ニ任セラルル同月本校細則中評議員會假規程ヲ廢止ス八月勅令第五百十二號ヲ以テ名譽教授ノ待遇ヲ定メラレ同月勅令第五百十三號ヲ以テ高等官官等俸給令中改正セラルル十月御眞影奉安殿竣工ス同月二十一日 天皇陛下ノ御眞影ヲ下賜セラレ翌二十日奉安ノ儀式ヲ舉行ス十一月十日御即位奉祝式ヲ舉行ス十二月勅令第二百三十六號ヲ以テ本校職員定員中改正セラルル十二月十一日文部省訓令第八號ヲ以テ教育ニ關スル御沙汰書ニ付告知セラル

同五年一月十一日教育ニ關スル御沙汰書奉讀式ヲ舉行ス六月勅令第七十四號ヲ以テ高等官官等俸給令中文部省直轄諸學校長ノ官等ニ關シ改正セラルル十月文部省訓令第五百號ヲ以テ行幸啓ノ節學生生徒敬禮方ヲ改正セラルル同月二十一日 皇后陛下御眞影並 皇太子殿下御影ヲ下賜セラレ同二十三日 奉安ノ儀式ヲ舉行ス十一月三日立太子禮奉祝式ヲ舉行ス十二月二十八日勅令第二百六十四號ヲ以テ本校職員定員中改

正セラル

同六年四月二十七日文部省令第四號ヲ以テ高等學校大學豫科入學者選抜試験規程同第五號ヲ以テ高等學校大學豫科入學者選抜試験無試験檢定規程ヲ改正セラレ九月二十一日勅令第六十一號ヲ以テ本校職員定員中改正セラルル同月學校醫服務規程ヲ定メ生徒總代規程ヲ改正ス十二月二十八日從來ノ宿直心得ヲ廢シ當直規程ヲ定ム
同七年三月二十五日木造二階建教室及小使室等五棟竣工ス七月十八日勅令第二百八十六號ヲ以テ本校職員定員中改正セラル

○第三章 學 曆

九月十一日	第一學期始ル
九月二十三日	秋季皇靈祭
十月十七日	神 嘗 祭
十月二十六日	開校記念日
十月三十一日	天長節祝日
十一月二十三日	新 嘗 祭
十二月二十四日	第一學期終ル
十二月二十五日	冬季休業始ル
一月一日	新年拜賀式
一月七日	冬季休業終ル
一月八日	第二學期始ル

二月十一日	紀 元 節
三月二十二日	春季皇靈祭
三月三十一日	第二學期終ル
四月一日	春季休業始ル
四月三日	神武天皇祭
四月七日	春季休業終ル
四月八日	第三學期始ル
七月十日	第三學期終ル
七月十一日	夏季休業始ル
七月三十日	明治天皇祭
八月三十一日	天 長 節
九月十日	夏季休業終ル

○第四章 規則

第一款 學年、學期及休業

第一條 學年ハ九月十一日ニ始リ翌年九月十日ニ終ル

第二條 學年中ニ三學期ヲ設ク第一學期ハ九月十一日ヨリ十二月二十四日ニ至リ第

二學期ハ一月八日ヨリ三月三十一日ニ至リ第三學期ハ四月八日ヨリ七月十日ニ至

ル

第三條 休業日左ノ如シ

- 一日 曜日
- 一 秋季皇靈祭 秋分日
- 一 神嘗祭 十月十七日
- 一 開校記念日 十月二十六日
- 一 天長節祝日 十月三十一日

一新嘗祭 十一月二十三日

一冬季休業 十二月二十五日ヨリ
翌年一月七日マデ

一紀元節 二月十一日

一春季皇靈祭 春分日

一春季休業 四月一日ヨリ
四月七日マデ

一夏季休業 七月十一日ヨリ
九月十日マデ

第二款 入學、在學及退學

第四條 入學ノ期ハ每學年ノ始トス

第五條 本校大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ且體格検査

ヲ受ケ之ニ合格シタル者タルヘシ

一 中學校ヲ卒業シタル者

二 專門學校入學者檢定規程ニ依ル試験檢定ニ合格シタル者

三專門學校入學者檢定規程第八條第一號ノ指定ヲ受ケタル者
但某學校ノ入學ニ限リ指定ヲ受ケタル者ヲ除ク

第六條 入學生徒ノ數及出願期限試驗期日等ハ毎回之ヲ定ム

第七條 入學志望者ハ入學志望者名票ニ必要ナル事項ヲ記入シ檢定料及寫眞（出願
前六ヶ月以内ニ單身撮影シタル脱帽半身ノ手札形ニシテ其裏面ニ第一志望部類氏
名ヲ記スヘシ）ヲ添ヘ指定ノ期日マテニ本校ニ差出スヘシ

但名票用紙ハ本校ヨリ交附ス

第八條 入學志望者ハ志望ノ部類ヲ指定シ名票所定ノ欄内ニ記入スヘシ其指定スヘ
キ部類左ノ如シ

- 第一部甲類 英語法律科 政治科
- 經濟科 商科
- 第一部乙類 英語文科
- 第一部丙類 獨語法律科 政治科
- 獨語文科

第二部甲類 工 科

第二部乙類 理科 醫科ノ內藥學科

第二部丙類 農 科

第三部 醫 科

入學志望者ハ志望ノ部類二個以上（同一部内ノ類ニ限ル）ヲ併セ指定スルコトヲ
得此場合ニ於テハ其志望ノ順位ヲ定ムヘシ

第九條 入學檢定料ハ金五圓トス

第十條 入學志望者ノ數各部募集人員ニ超過スルトキハ選抜試驗ヲ行フ

第十一條 選抜試驗ハ中學校ノ學科目ニ就キ中學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フ
前項ノ試驗學科目中一科目又ハ數科目ヲ缺クコトアルヘシ
外國語ハ各部ヲ通シテ英語トス

第十二條 選抜試驗ヲ受ケタル者ハ之ヲ第一部第二部及第三部ノ三部ニ區分シ其試

驗ノ成績順ニ依リ各部募集ノ總員ト同數ナル人員ヲ選出シ其内ニ就キ左ノ方法ニ依リ入學セシム

一 選拔試験成績順ニヨリ本人ノ指定スル第一ノ志望類ニ配當ス

二 第一號ノ場合ニ於テ成績相同シキトキハ抽籤ニ依ル

三 第一號第二號ニ依リ配當ノ結果本人ノ指定スル第一ノ志望類既ニ滿員トナリ配當スルコトヲ得サルモノニ就テハ更ニ成績順ニ依リ本人ノ指定スル第二以下ノ

志望類ニシテ缺員アルモノニ配當ス

四 第三號ノ場合ニ於テ成績相同シキトキハ志望類ノ順位ニ依ル

五 第三號ノ場合ニ於テ成績及志望類ノ順位相同シキトキハ抽籤ニ依ル

六 前數號ニ依リ配當ノ結果本人ノ指定スル志望類悉ク滿員トナリタルトキハ入學スルコトヲ得サルモノトス

前項ニ依リ配當ノ結果又ハ事故ノ爲入學者ニ缺員ヲ生シタルトキハ前項選出人員

以外ニ就キ更ニ前項ノ方法ニ依リ之ヲ補填ス

第十三條 前條ニ依リ決定シタル入學者ノ氏名ハ官報ニ廣告シ且本人ニ之ヲ通知ス

第十四條 入學ノ許可ヲ受ケタル者ハ指定ノ期日マテ戶籍謄本及履歷書ニ入學料金參圓ヲ添ヘ本校ニ差出スヘシ

指定ノ期日マテニ前項ノ手續ヲ了セサル者ニ關シテハ其入學ノ許可ヲ無効トス

第十五條 一旦納付シタル入學檢定料及入學料ハ之ヲ還附セス

第十六條 願ニ依リ退學シタル者及除名セラレタル者ニシテ再入學ヲ請フトキハ其退學及除名ノ事由ニ依リ再入學ヲ許スコトアルヘシ

但時宜ニ依リ試験ヲ施スコトアルヘシ

第十七條 兵役ニ服スル爲メ退學シタル者服役滿期ノ後一ケ年以内ニ再入學ヲ請フトキハ試験ヲ須ヒス之ヲ許可シ原級ニ編入スルモノトス

第十八條 本校生徒ハ轉學又ハ轉部ヲ許サス

第十九條 本校生徒ハ學校長ノ許可ヲ經ルニアラサレハ他ノ學校ノ入學試驗ヲ受クルコトヲ得ス

第二十條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ左式ノ身元保證書並ニ在學證書ヲ指定ノ期日迄ニ差出スヘシ

用紙ハ本校ヨリ交付ス

參錢收
入印紙
貼用
身元保證書式(用紙
美濃紙)

今般何某儀御校大學豫科何部何年へ入學御許可相成候處拙者儀同人ノ父兄、伯ニ叔父付其在學中ニ係ル事件ハ勿論同人御校ノ學籍ヲ脱シ候後タリトモ一切引受可申候仍而保證如斯候也

族籍及職務者クハ職業
父兄又ハ親戚ノ關係

年月日

身元保證人 何

某印

生年月日

現住所

第二高等學校長何某殿

前書保證人何某ハ丁年以上ニシテ本市區町村内ニ於テ一家計ヲ立ツル者ニ相違無之候也

年月日

何府市區町村長 何

某印

參錢收
入印紙
貼用
在學證書式(用紙
同上)

私儀御校在學中ハ品行ヲ慎ムヘキハ勿論御規則等堅ク相守リ猥リニ退學仕間敷候依テ證書如斯候也

大學豫科 部 年生

原籍(華、士族
平民)

寄留地

何

某印

(假名ヲ付スヘシ)

生年月日

宿所

第二高等學校長何某殿

前文何某在學中其監督保護ノ責ニ任スルハ勿論在學中ニ係ル事件ハ同人御校ノ
學籍ヲ脱シ候後タリトモ拙者ニ於テ一切引受可申候依テ保證如斯候也

族籍及職務若クハ職業
生徒ニ對スル關係

年月日

保證人 何

某印

生年月日

現住所

前書保證人何某ハ丁年以上ノ男子ニシテ本市内ニ於テ一家計ヲ立ツル者ニ相違
無之候也

年月日

仙臺市長 何

某印

本校ニ於テ適當ト認メタル保證人ハ此奥書ヲ要セス又不適當ト認メタル保證人
ハ之ヲ改メシムヘシ

- 第二十一條 身元保證人ハ父兄若クハ親戚中丁年以上ノ男子ニシテ一家計ヲ立テ生
徒ノ身分ニ關シ一切引受クルニ足ル者在仙臺保證人ハ丁年以上ノ男子ニシテ仙臺
市内ニ於テ一家計ヲ立ツル者又ハ本校ニ於テ適當ナリト認メタル者ニ限ル
- 第二十二條 保證人宿所ヲ轉シ或ハ改印スル等ノ事アラハ其旨直ニ届出ツヘシ
- 第二十三條 保證人一時旅行セントスルトキハ相當ノ代理者ヲ立テ置クヘシ
- 第二十四條 保證人死去スルカ若クハ保證人タル資格ヲ失フカ或ハ旅行三ヶ月以上
ニ涉ルトキハ直ニ他人ヲ以テ之ニ代ヘ更ニ保證書又ハ在學證書ヲ差出スヘシ
- 第二十五條 生徒疾病或ハ事故ニ依リ缺課スルトキハ其當日乃至翌翌日中ニ其事由
ヲ詳記シ在寮生ニアリテハ生徒監ノ檢印ヲ受ケ其他ニアリテハ保證人ヨリ其旨届

出ツヘシ

但シ二日以上缺課セントスルトキハ其日限ヲモ記スヘク又疾病ニ依リ七日以上缺課セントスルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ

第二十六條 生徒疾病又ハ止ムヲ得サル事故ニ依リ退學セント欲スルトキハ保證人連署ノ上其旨願出ツヘシ

但シ疾病ノトキハ醫師ノ診斷書ヲ添フルモノトス

第二十七條 二學年ヲ超エルモ尙ホ同級ニ止マル者ハ退學セシム

但一年志願兵ノ故ヲ以テ休學セシ者ハ此限ニアラス

第二十八條 休學一ケ年落第一回併テ二學年間引續キ同級ニ止マル者ハ退學セシム

第二十九條 學力劣等ニシテ成業見込ナシト認ムル者又ハ出席常ナラササル者ハ諭旨退學セシム

第三十條 生徒タル本分ヲ失フ者ハ其輕重ニ依リ戒飭停學若クハ放校ニ處スヘシ

但シ戒飭停學ニハ減點ヲ附加スルコトアルヘシ

第三十一條 此規則中生徒ノ入退學及除名ニ關シテハ時宜ニ依リ臨機ノ處分ヲナスコトアルヘシ

第三款 學科課程

第三十二條 大學豫科ノ學科ヲ第一部第二部第三部ニ分チ各生徒ヲシテ其一ヲ修メシム

第三十三條 大學豫科ノ課程ヲ三學級ニ分チ一學年ヲ以テ一學級ヲ終フルモノトス

第三十四條 當校大學豫科ニ於テハ佛蘭西法律學科佛蘭西文學科ヲ志望スル者又ハ各部トモ佛蘭西語ヲ選修セントスル者ノ豫備ハ設置セス

第三十五條 大學豫科課程ハ明治三十三年八月文部省令第十三號大學豫科學科規程ニ依ル

第三十六條 當校大學豫科ノ學科課程ヲ定ムルコト左表ノ如シ

大學豫科第一部學科課程表

學科	階級	每週時間		修身	國文	英語	獨語	歷史	數學								
		數	時														
學科	第一	上	同	一	六	九	九	三	三								
										法、文	講	講	講	講	講	講	講
	法、文	讀	讀	讀	讀	讀	讀										
								獨	文	文	文	文	文				
	第二	上	同	一	五	九	九							四	四		
								法、文	講	講	講	講	講			講	講
	法、文	讀	讀	讀	讀	讀	讀										
								獨	文	文	文	文	文				
	第三	上	同	一	五	九	九							三	三		
								法、文	講	講	講	講	講			講	講
英																	
	法、文	讀	讀	讀	讀	讀	讀										
								獨	文	文	文	文	文				
第四	上	同	一	四	八	八	三							三			
								法、文	講	講	講	講	講		講	講	
																	英
法、文	讀	讀	讀	讀	讀	讀											
							獨	文	文	文	文	文					
第五	上	同	一	二	八	八							三	三			
							法、文	講	講	講	講	講			講	講	
																	英
法、文	讀	讀	讀	讀	讀	讀											
							獨	文	文	文	文	文					
第六	上	同	一	二	上	上							上	二			
							法、文	講	講	講	講	講			講	講	
																	英
法、文	讀	讀	讀	讀	讀	讀											
							獨	文	文	文	文	文					

計	體操	通經論	通法論	心論理及	物理
三	三				
	兵式體操				
三	三				
	同				
三	上			二	
	同			心理大意	
三	上			二	
	同			同	
三	上			上	
	同				
三元	上	(二)	二		
	同	一	一		
三元	上	般	般		
	同	(二)	二		
	同	同	同		
三	上	上	上		二
	同	同	同		大物
	上	上	上		意理

大學豫科第二部學科課程表

階	年	學級	科	修身	國語	英語	獨語	數學	物理	學科	
										每週時數	每週時數
第一	年	工、理、農	工、理、農	一	講作	講作	講作	三角	力學、熱學、音響學	三	第一
											二
第二	年	工、理、農	工、理、農	一	講作	講作	講作	代數、幾何	力學、熱學、音響學	三	第一
											二
第三	年	工、理、農	工、理、農	一	講作	講作	講作	微積分、力學	力學、熱學、音響學	三	第一
											二
第一	年	工、理、農	工、理、農	一	講作	講作	講作	微積分、力學	力學、熱學、音響學	三	第一
											二
第二	年	工、理、農	工、理、農	一	講作	講作	講作	微積分、力學	力學、熱學、音響學	三	第一
											二
第三	年	工、理、農	工、理、農	一	講作	講作	講作	微積分、力學	力學、熱學、音響學	三	第一
											二
第一	年	工、理、農	工、理、農	一	講作	講作	講作	微積分、力學	力學、熱學、音響學	三	第一
											二
第二	年	工、理、農	工、理、農	一	講作	講作	講作	微積分、力學	力學、熱學、音響學	三	第一
											二
第三	年	工、理、農	工、理、農	一	講作	講作	講作	微積分、力學	力學、熱學、音響學	三	第一
											二

階	年	學級	科	修身	國語	英語	獨語	數學	物理	學科	
										每週時數	每週時數
第一	年	工、理、農	工、理、農	一	講作	講作	講作	三角	力學、熱學、音響學	三	第一
											二
第二	年	工、理、農	工、理、農	一	講作	講作	講作	代數、幾何	力學、熱學、音響學	三	第一
											二
第三	年	工、理、農	工、理、農	一	講作	講作	講作	微積分、力學	力學、熱學、音響學	三	第一
											二
第一	年	工、理、農	工、理、農	一	講作	講作	講作	微積分、力學	力學、熱學、音響學	三	第一
											二
第二	年	工、理、農	工、理、農	一	講作	講作	講作	微積分、力學	力學、熱學、音響學	三	第一
											二
第三	年	工、理、農	工、理、農	一	講作	講作	講作	微積分、力學	力學、熱學、音響學	三	第一
											二
第一	年	工、理、農	工、理、農	一	講作	講作	講作	微積分、力學	力學、熱學、音響學	三	第一
											二
第二	年	工、理、農	工、理、農	一	講作	講作	講作	微積分、力學	力學、熱學、音響學	三	第一
											二
第三	年	工、理、農	工、理、農	一	講作	講作	講作	微積分、力學	力學、熱學、音響學	三	第一
											二

大學豫科第三部學科課程表

學科	階級	每週時數	第一			第二			第三			
			年	同上	同上	年	同上	同上	年	同上	同上	
修身		一										
國語		三	講讀、作文、									
獨語		一三	講讀、會話、									
英語		三	講讀、文法、									
羅句語												
數學		三	代數、三角法									
物理												
化學												
動物及植物		四	形態、解剖、生理、 分類、發生、比較、 解剖									
修 身		一										
國 語		三	講讀、作文、									
獨 語		一三	講讀、會話、									
英 語		三	講讀、文法、									
羅 句 語												
數 學		三	代數、三角法									
物 理												
化 學												
動物及植物		四	形態、解剖、生理、 分類、發生、比較、 解剖									
實 驗		三	力學、物性論、 熱學、音響學、 無機化學									
實 驗		三	光學、磁氣學、 電氣學、 有機化學									
實 驗		三	無機化學									
實 驗		三	有機化學									
實 驗		三	光學、磁氣學、 電氣學、 有機化學									
實 驗		三	無機化學									
實 驗		三	有機化學									
計		三〇										
體 操		三	兵式體操									
計		三										
體 操		三	同上									
計		三										
體 操		三	同上									
計		三										
體 操		三	同上									
計		三										
體 操		三	同上									

第四款 大學豫科試業進級及卒業

第三十七條 試業ヲ分チテ學年試業學期試業ノ二種トス

第三十八條 學期試業ハ第一學期及第二學期ノ終ニ於テ其學期間ニ履修シタル諸課

目ニ就キ之ヲ施行ス

第三十九條 學年試業ハ學年ノ終ニ於テ其學年中ニ履修シタル總テノ課目ニ就キ之

ヲ施行ス

但第一學期又ハ第二學期中ニ授業ヲ完了シタル課目ハ其之ヲ完了シタル時ニ於

テ試業ヲ施スコトアルヘシ

第四十條 或學科ニ就テハ受持教員ノ見込ニ依リ前條ノ試業ノ外臨時ニ試業ヲ施ス

ヘシ

第四十一條 作文體操及諸學科實習ハ試業ヲ施サス其評點ハ日々ノ課業ニ基キ之ヲ定ムヘシ

第四十二條 一課目ノ學期評點ハ學期試業ノ成績ト日常ノ課業臨時ニ施行シタル試業ノ成績トニ依リテ之ヲ定ム

一課目ノ學年試業評點ハ該課目ノ學年試業點ト第三學期ノ平常點トヲ參酌シテ之ヲ定ム

第四十三條 學期評點及學年試業評點ハ一課目各一百點ヲ以テ最高點トス

第四十四條 一課目ノ學年評點ハ該課目ノ第一學期及第二學期ノ評點ノ和ニ學年試業評點ヲ加ヘ三除シテ之ヲ定ム

但一課目ノ授業一學期ニテ畢ルトキハ其學期評點ヲ以テ學年評點ト見做ス

第四十五條 學期ノ諸課目評點平均數ハ各課目ノ學期評點ヲ通計シ得ル所ノ和ヲ課目ノ數ヲ以テ除シテ定ムルモノトス

第四十六條 學年ノ諸課目評點平均數モ前條ノ如ク各課目ノ學年評點ヲ通計シ得ル所ノ和ヲ課目ノ數ヲ以テ除シテ定ムルモノトス

第四十七條 學年末ニ於テ左表ノ定規ニ據リ生徒ノ及第落第ヲ判定ス

但平素ノ勤惰行狀及無届缺課等ヲ參酌スルモノトス

諸課目評點平均數	學年評點六十以下ノ課目數及點數	判	定
六十以上		及第	
同	一課目	及第	
同	五十以上		
同	五十未滿	落第	最下點四十點以上ニシテ學年試業評點或ハ學期評點平均數六十以上ナルトキハ及第
六十以上	二課目	及第	
	五十以上		

同	同	五十未滿	落第 <small>最下點四十以上之二次クモノ五十以上ニシテ 二課目共學年試業評點或ハ學期評點平均數六 以上ナルトキハ</small>
同	三課目 以上	六十未滿	落第 <small>學年評點六十未滿ノ課目ノ數履修セル總課目 ノ半數或ハ半數以下ニシテ該課目皆學年評點 五十以上學年試業評點或ハ學期評點平均數六 以上ナルトキハ</small>
六十未滿		落第	及第

第四十八條 學期試業ニ缺席シタル課目一ハ其學年試業評點ノ百分ノ五十五ヲ附ス
第四十九條 學年試業ニ缺席シタル課目ニハ零點ヲ附ス

但缺席ノ理由正當ナリト認メタル者試験終了後二週日以内ニ出願シタルトキハ
其ノ學期平均點三科目以内五十點以上ナルカ又ハ一科目五十點以上一科目四十
點以上ニシテ其他ハ六十點以上ナル者ニ限リ次學年始業前後各二週日以内ニ追
試験ヲ許スコトアルヘシ

第五十條 大學豫科ヲ修メ試業ヲ完ウンタル者ニハ左式ノ卒業證書ヲ授與ス

卒業證

府縣族籍

何 某

校印

何年何月何日生

右者本校ニ於テ大學豫科第一(二)三部
ノ學科ヲ修メ正ニ其業ヲ卒ヘタリ仍
テ之ヲ證ス

年月日

第二高等學校長位勳學位爵 姓名 印

番號

第五款 授業料及被服

第五十一條 本校生徒ノ授業料ハ一學年金參拾五圓トシ左ノ三回ニ分テテ之ヲ徵收

ス

但期日前ニ納付スルモ妨ナシ

學期 金額

納付期日

第一 金拾四圓

自九月二十五日
至同月二十九日

第二 金拾圓五拾錢

自一月二十五日
至同月二十九日

第三 金拾圓五拾錢

自四月二十五日
至同月二十九日

第五十二條 授業料ハ陸軍一年志願兵タルノ故ヲ以テ休學ノ許可ヲ得タル者ヲ除ク
ノ外總テ在籍生徒ハ授業料ヲ納付スヘシ

但シ課業ヲ缺キ又ハ退學スルモ既納ノ授業料ハ返付セサルモノトス

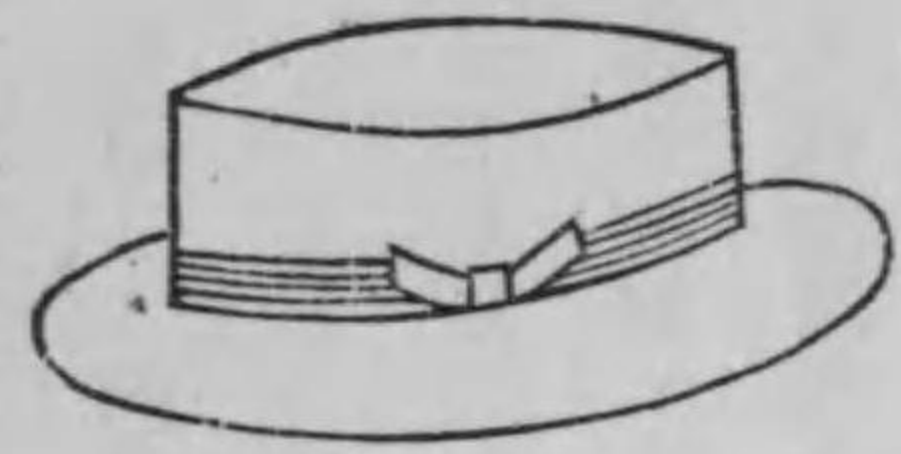
第五十三條 授業料ヲ納付期日ニ納メサルトキハ上校ヲ止メ之ヲ保證人ヨリ徴收ス
ヘシ其未納三週日ニ至ルモノハ除名ス

第五十四條 生徒ハ自費ヲ以テ本校制定ノ被服ヲ調製着用スヘシ

但シ新入生徒ハ九月二十日迄ニ制帽ヲ同月三十日迄ニ制服ヲ着用スヘシ

制 服 圖

- 一帽 佛蘭西形 色黒 地質絨 徽章蜂
- 一衣 背廣形 色黒又ハ紺 地質絨若クハ小倉織
- 一袴 色地質共ニ衣ニ同シ
- 一外套 色黒又ハ紺 地質絨
- 一略服 背廣形 色霜降 地質小倉織
- 一略帽 麥稈製 黑色ノ縁ニ二條ノ白線ヲ施シ徽章ハ必ス前面ニ附スヘシ
- 一釦 金色圓形内蜂章ヲ附ス
- 一日覆 白薄布
- 一襟章 金色數字
- 一卷脚絆 色黒又ハ紺 地質絨



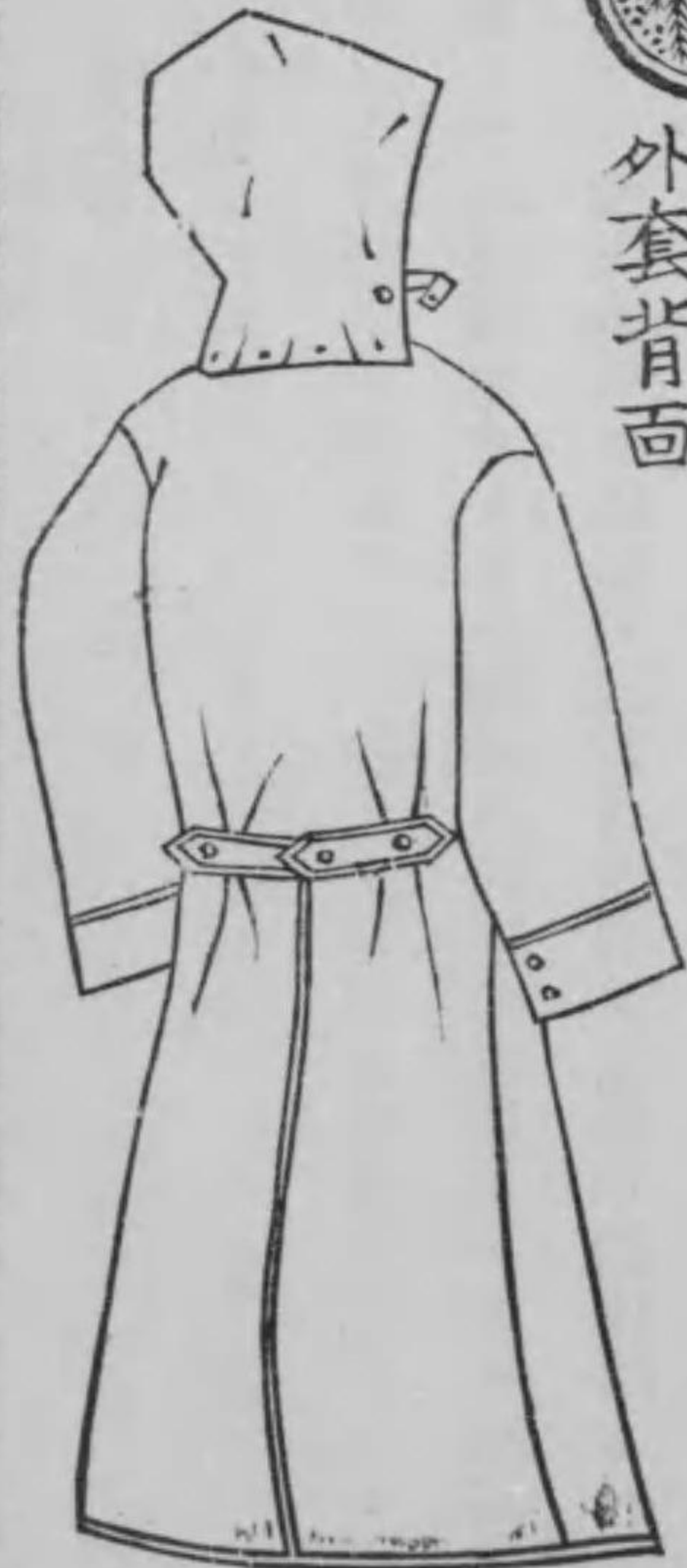
略帽



帽徽章



鈕

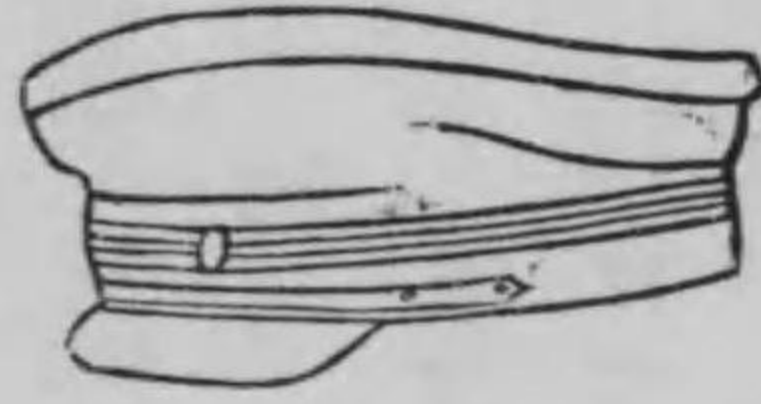


外套背面



外套前面

帽



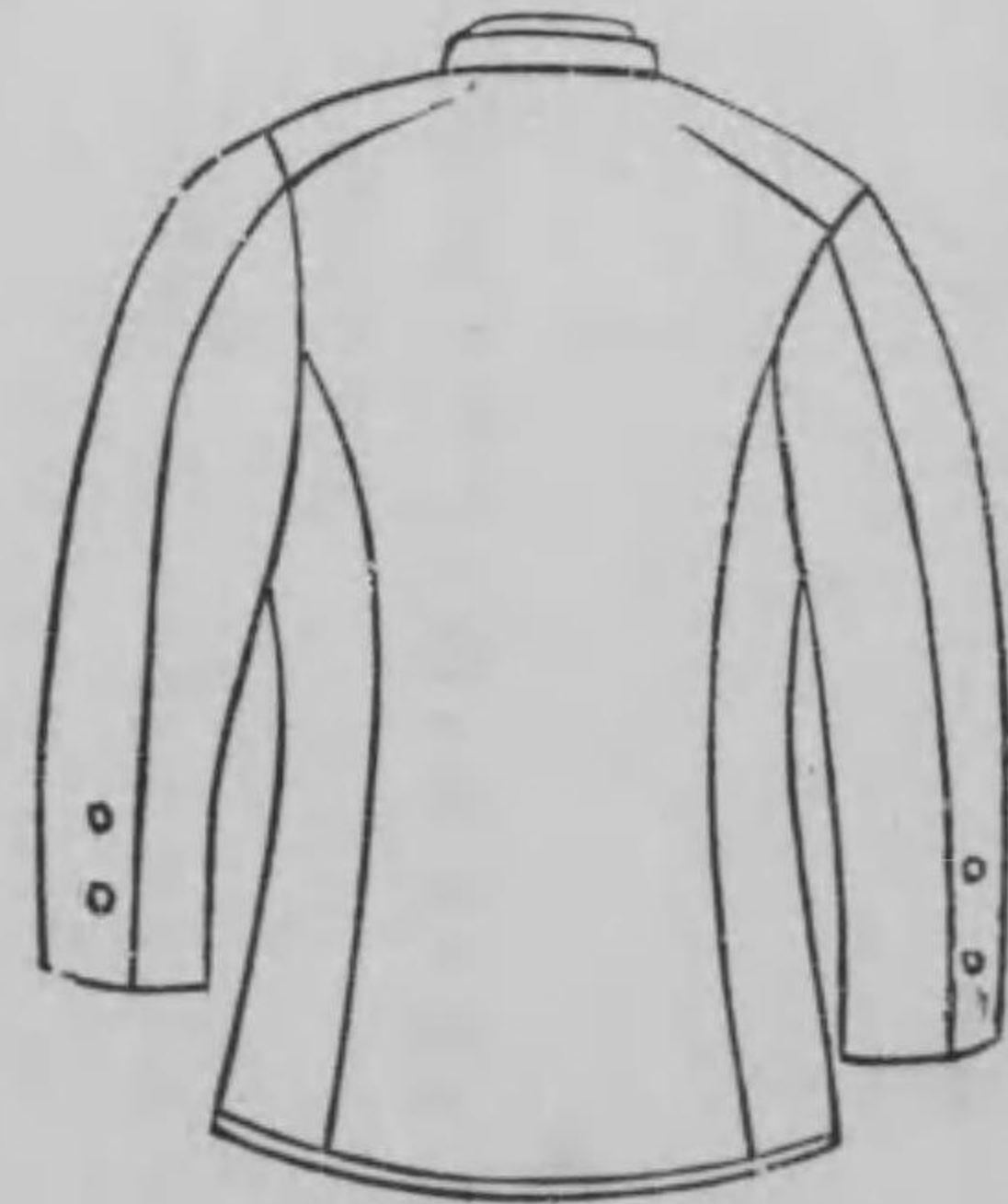
衣前面



袴



衣背面



襟章 第一部 I 第二部 II 第三部 III

第六款 休學

第五十五條 生徒疾病其他已ムヲ得サル事故アリテ滿三ヶ月以上修業シ能ハスト思惟スルトキハ保證人連署ノ上(疾病ナルトキハ醫師ノ診斷書事故ナルトキハ父兄又ハ保證人ノ證明書ヲ添ヘ)豫メ本校ニ出願シ其許可ヲ得テ該學年間休學スルコトヲ得

第五十六條 陸軍一年志願兵タルノ故ヲ以テ休學ヲ願フ者ハ其服役中休學ヲ許ス

第五十七條 休學ハ一學級一回ニ限ルモノトス

但シ一年志願兵ノ爲メ休學スル者ハ此限ニアラス

第五十八條 休學ノ許可ヲ得タル者ハ次學年ノ初ヨリ其原級ニ入り修學スルモノトス

第五十九條 休學シタル事由止ミタルトキハ願ニ依リ詮議ノ上原級ニ復セシムルコト

トアルヘシ

第七款 寄宿舎

第六十條 本校寄宿舎ハ明善寮ト稱ス

第六十一條 本校生徒ハ入學後少クモ一學年間ハ明善寮ニ寄宿スヘキモノトス

但シ自宅又ハ本校ニ於テ適當ト認メタル者ノ居室ヨリ通學スルモノハ此限ニアラス

第六十二條 在寮生ニシテ病氣又ハ事故ノタメ缺課セント欲スルモノハ豫メ生徒監ノ檢印ヲ受クヘシ

第六十三條 寮費ハ一ヶ月金壹圓貳拾錢トス毎月十六日ヨリ二十八日マテニ本校會計係ニ納付スヘシ

但シ月ノ十五日以前ニ退寮シ若クハ十六日以後ニ入寮シタルモノハ半額トシ其際之ヲ納付スヘシ

第六十四條 入寮若クハ退寮セント欲スルモノハ所定ノ書式ニ從ヒ本校ニ願出ツヘシ

第六十五條 在寮生ニシテ其本分ヲ失フ行爲アリト認ムルトキハ退寮ヲ命スルコトアルヘシ

第六十六條 在寮生ハ寮中ノ規約ヲ定メ生徒監ノ認可ヲ受ケテ之ヲ實行スヘシ
入 寮 願

何部何年

何 某

右御校寄宿舎明善寮へ入寮致度ニ付御許可相成度此段願上候也

年 月 日

右

何 某印

第二高等學校長何某殿

退 寮 願

何部何年

何 某

右何々ノ事由ニ付大正何年何月何日退寮致度候間御許可相成度此段願上候也

年 月 日

右

何 某印

第二高等學校長何某殿

第八款 圖書

第六十七條 本校所有ノ圖書ハ總テ之ヲ圖書館ニ藏ス

第六十八條 圖書館ニ於テハ本校所藏ノモノ、外別ニ定ムル所ノ規定ニヨリ他ノ寄

託ニ係ル圖書ヲ貯藏スヘシ

第六十九條 教員ハ一員二十冊事務員及助手ハ一員五冊ヲ限リ教授上若クハ事務上

ノ參考用トシテ圖書ヲ借受スルコトヲ得

但授業上必要ノ場合ニ於テハ學校長ノ特許ヲ以テ本條制限外ノ圖書ヲ貸附スルコトアルヘシ

第七十條 借受ノ冊數ハ洋裝ノモノニ就テ之ヲ定メ和漢裝ノモノハ三冊ヲ以テ一冊

ニ充テ圖書等ノ幅若クハ折本ハ一幅或ハ一折ヲ以テ一冊トナシ通算スルモノトス

第七十一條 授業上若クハ校務上ノ必要ニヨリ教員室教室實驗室事務室ニ備付クル

圖書ハ第六十九條ノ制限外トス

第七十二條 生徒教科用ノ圖書ヲ購讀スルコト能ハサル者ニハ願ニ依リ本校所藏ノ

圖書ヲ貸附スルコトアルヘシ

但本條ノ場合ニ於テハ其受持教員ノ保認ヲ要ス

第七十三條 貴重圖書辭書類及閱覽室備付ニ缺クヘカラサル圖書ハ總テ借受スルヲ

許サス

但學校長ノ特許ヲ得タルモノハ此限ニ非ス

第七十四條 圖書ヲ借受セント欲スル者ハ自ラ圖書室ニ至リ定式ノ證書用紙ヲ受取
リ之ニ書名、冊數、番號、姓名、年月日ヲ詳記シ捺印シタル證書ヲ係員ニ差出シ
之ヲ借受スヘシ

第七十五條 凡ソ借受シタル圖書ハ他人ニ轉貸スルヲ許サス

第七十六條 閱覽室備付ノ定時刊行ノ雜誌等ハ校用ヲ除クノ外到着ノ日ヨリ二週間
ヲ過クルニ非ラサレハ館外ニ携出スルヲ許サス

第七十七條 夏期休業中生徒所用ノ教科書ヲ借受セント欲スルトキハ受持教員ノ保
認ヲ經テ二冊ヲ限リ借受スルコトヲ得

第七十八條 凡ソ借受シタル圖書ハ毎學年ノ終ニ於テ指定ノ期日迄ニ悉皆返納セシ
ム尤モ時宜ニ依リ臨時返納セシムルコトアルヘシ

第七十九條 凡ソ借受シタル圖書ヲ紛失シタルトキハ同一ノ圖書ヲ以テ之ヲ償ハシ

ム

第八十條 凡ソ借受シタル圖書ヲ毀損シ若クハ汚染シタルトキハ其情況ニヨリ借受者ヲシテ之ニ修繕ヲ加ヘシメ若クハ同一ノ圖書ヲ以テ之ニ償ハシム其故意ニ出テタルモノハ圖書ノ貸付ヲ停止スルコトアルヘシ

第八十一條 圖書館内ニ閱覽室ヲ設ケ職員及生徒ノ圖書ヲ閱覽スル所トス

但第六十八條ノ寄託者及其指定人ニハ閱覽室ニ入ルコトヲ許スコトアルヘシ

第八十二條 閱覽室ハ休日ヲ除クノ外毎日之ヲ開ク

但開閉時限ハ時々之ヲ告示シ休日ト雖モ特ニ開館スルトキハ其都度之ヲ告示スヘシ

第八十三條 圖書係員教員並ニ第八十一條ニ於テ特ニ許可シタル者ノ外ハ書庫ニ入リ圖書ヲ檢索シ及出納スルヲ得ス

第八十四條 凡ソ閱覽室備付ノ圖書ハ閱覽室外ヘ携出スルヲ禁ス

但職員ノ校務用若クハ授業用ノ爲メ携出ヲ要スルトキハ係員ノ承認ヲ得テ一日限リ之ヲ其詰所若クハ教室ヘ携出スルコトヲ得

第八十五條 生徒並特許者ノ圖書貸付並ニ閱覽ニ關スル細則ハ之ヲ別ニ定ム

第九款 器械

第八十六條 本校所藏ノ學術用器械ハ授業上並實習上ノ用ニ供スル爲メ各教室及實驗室ニ備付クルモノトス

第八十七條 生徒ハ受持教員ノ指示ニ順ヒ實習用ノ器械ヲ借受使用スルコトヲ得

但其他ノ器械ハ受持教員ノ許可ヲ經ルニ非レハ一切之ヲ使用スルコトヲ得ス

第八十八條 生徒自修ノ爲メ器械ヲ室外ヘ借受携出セント欲スル者ニハ願ニ依リ之ヲ許可スルコトアルヘシ

但本條ノ場合ニ於テハ受持教員ノ承認ヲ要ス

第八十九條 前條ニ依リ生徒ニ器械ノ貸付ヲ許ストキハ一學期毎ニ規程ノ借料ヲ前

納セシム

第九十條 借料ハ每學期指定ノ期日ニ本校會計係ヘ納付スヘシ

第九十一條 定日ニ於テ借料ヲ納付セサルトキハ上校ヲ止メ之ヲ保證人ヨリ徵收スヘシ

第九十二條 學期中半途器械ヲ借受スルモ全學期間ノ借料ヲ徵收スルハ勿論半途之ヲ返納スルモ既納ノ借料ハ還附セス

第九十三條 生徒器械ヲ借受セント欲スルトキハ名稱、個數、姓名、月日等ヲ借受簿ニ詳記シ捺印ノ上受持教官若クハ助手ニ差出スヘシ

但第八十八條ノ場合ニ於テハ更ニ其借受證書ヲ出スモノトス

第九十四條 凡ソ借受シタル器械ハ他人ニ轉貸スルコトヲ許サス

第九十五條 夏季休業中生徒自習ノ爲メ教科用器械ヲ借受セント欲スルトキハ受持教官ノ保認ヲ經テ借受スルコトヲ得

第九十六條 凡ソ借受シタル器械ハ每學年ノ終ニ於テ指定ノ期日迄ニ悉皆返納スヘシ尤モ時宜ニヨリ臨時ニ返納セシムルコトアルヘシ

第九十七條 借受期限ヲ經過スルモ尙ホ返納セサル者ニハ次學期間器械ヲ貸與セサルコトアルヘシ

第九十八條 凡ソ借受シタル器械ヲ毀損若クハ紛失シタル者ハ其情況ニ依リ修繕ヲ加ヘシメ又ハ同一ノ器械ヲ以テ之ヲ償ハシム

但本條ノ場合ニ於テハ速ニ其理由ヲ詳記シ受持教官ニ届出ツヘシ

○第五章 細 則

第一款 校務分掌規程(三十五年九月及四十四年十一月改正)

第一條 本校ノ事務ヲ分チテ教務庶務會計圖書及生徒監督ノ五部トス

第二條 教務部ニ教頭ヲ庶務部ニ幹事ヲ圖書部ニ圖書長ヲ置キ生徒監督部ハ生徒監督ノ管理ス

第三條 教頭幹事及圖書長ハ教授中ヨリ學校長之ヲ命ス

第四條 教頭ハ學校長ノ指揮ヲ承ケ教務ヲ整理シ教育ノ秩序ヲ保持スルコトヲ掌ル

第五條 幹事ハ學校長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ管理ス

第六條 圖書長ハ學校長ノ指揮ヲ承ケ圖書一切ニ關スル事ヲ掌ル

第七條 生徒監督ハ學校長ノ指揮ヲ承ケ一般生徒ノ訓育ニ關スル事ヲ掌ル

第八條 教務部ニ學科主任及級長ヲ置ク

第九條 學科主任ハ教授中ヨリ學校長之ヲ命ス

第十條 學科主任ハ學校長及教頭ノ指揮ヲ承ケ該學科授業ニ關スル一切ノ事務ヲ掌

リ兼テ校務重要ノ件ニ參與ス

第十一條 級長ハ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス

第十二條 級長ハ學校長及教頭ノ指揮ヲ承ケ受持生徒ヲ監督誘掖スルコトヲ掌ル

第十三條 各學科教員ハ學校長教頭及其學科主任ノ監督ニ屬シ生徒教育ノ事ヲ掌ル

第十四條 各學科主任及級長ノ擔任スヘキ要項左ノ如シ

學科主任

修身科

一 修身ノ授業ニ關スルコト

國語及漢文科

一 國語漢文ノ授業ニ關スルコト

英語科

一 英語及羅旬語ノ授業ニ關スル事

獨語科

一 獨語及羅旬語ノ授業ニ關スル事

歴史科

一 歴史ノ授業ニ關スル事

數學科

一 數學ノ授業ニ關スル事

物理學科

一 物理學ノ授業ニ關スル事

論理及心理學科

一 論理學心理學ノ授業ニ關スル事

法學及經濟學科

一 法學通論及經濟通論ノ授業ニ關スル事

化學科

一 化學ノ授業ニ關スル事

動物及植物學科

一 動物及植物ノ授業ニ關スル事

地質及鑛物學科

一 地質及鑛物學ノ授業ニ關スル事

圖書及測量科

一 圖書及測量ノ授業ニ關スル事

體操科

一 體操科ノ授業生徒ノ身體檢査及諸運動ニ關スル事

級長

- 一 受持生徒ノ勤惰行狀ニ關スル事
 - 二 受持生徒ノ心得方並ニ訓戒ニ關スル事
 - 三 受持生徒ノ缺席ニ關スル事
 - 四 受持生徒ノ試業成績ニ關スル事
 - 五 受持生徒教室ノ整頓及教室ノ備品保管ニ關スル事
 - 六 此他受持生徒ニ關スル一切ノ事項
- 第十五條 教務部庶務部會計部圖書部及生徒監督部ニ各係ヲ置キ各係ニ主任ヲ置ク
- 第十六條 教務係庶務係圖書係及會計係ノ主任ハ書記ノ中ヨリ生徒監督係ノ主任ハ
教官中ヨリ學校長之ヲ命ス
- 第十七條 教務係主任ハ上官ノ命ヲ承ケ教務ニ從事シ教頭ノ監督ニ屬ス
- 第十八條 庶務係主任ハ上官ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事シ幹事ノ監督ニ屬ス
- 第十九條 會計係主任ハ上官ノ命ヲ承ケ會計ニ從事ス

- 第二十條 圖書係主任ハ上官ノ命ヲ承ケ圖書ノ事務ニ從ヒ圖書長ノ監督ニ屬ス
- 第二十一條 生徒監督係主任ハ學校長及生徒監ノ命ヲ承ケ一般生徒ノ訓育及取締ニ
從事ス
- 第二十二條 教務係、庶務係、會計係、圖書係及生徒監督係ノ擔任スヘキ要項左ノ
如シ

教務係

- 一 教室及日課ニ關スル事
- 二 成績表ニ關スル事
- 三 生徒ノ入學、在學、退學、休學、除名ニ關スル事
- 四 生徒ノ學籍ニ關スルコト
- 五 生徒ノ試業進級及卒業ニ關スル事
- 六 生徒ノ體格検査ニ關スル事

- 七 生徒ノ缺席調査及其ノ報告ニ關スル事
 - 八 生徒ノ願届ニ關スル事
 - 九 生徒ノ學力品行等ノ證明ニ關スル事
 - 十 生徒ノ徴兵ニ關スル事
 - 十一 教務係ニ屬スル文書ノ起案ニ關スル事
 - 十二 大學豫科學力檢定ニ關スル事
 - 十三 教科用書ニ關スル事
 - 十四 教員室、教室ノ設備及其ノ物品ノ保管ニ關スル事
 - 十五 教授會ニ關スル事
 - 十六 其ノ他教務ニ關スル一切ノ事項
- 庶務係
- 一 御影及勅語ノ保管ニ關スル事

- 二 校長官印及校印ノ監守ニ關スル事
- 三 校旗ノ保管ニ關スル事
- 四 規則及命令ニ關スル事
- 五 儀式ニ關スル事
- 六 職員ノ進退、身分及服務ニ關スル事
- 七 職員ノ缺勤調査及其ノ報告ニ關スル事
- 八 職員ノ願届ニ關スル事
- 九 外國教師ニ關スル事
- 十 庶務係ニ屬スル文書ノ起案ニ關スル事
- 十一 公文書類ノ保存整理ニ關スル事
- 十二 文書ノ接受及發送ニ關スル事
- 十三 一覽及報告ニ關スル事

- 十四 宿直及校門ノ開閉等ニ關スル事
- 十五 寄附物品ノ接受及賞與申請ニ關スル事
- 十六 卒業生ノ大學進入ニ關スル事
- 十七 教員無試験檢定願ニ關スル事
- 十八 他ノ係ニ屬セサル一切ノ事項

會計係

- 一 會計係ニ屬スル文書ノ起案及保存整理ニ關スル事
- 二 經費ノ豫算及決算ニ關スル事
- 三 金錢出納ニ關スル事
- 四 會計帳簿ノ整頓ニ關スル事
- 五 需用品ノ收支ニ關スル事
- 六 圖書器機器具其他物品一切ノ調製及購入ニ關スル事

- 七 地所建物ニ關スル事
- 八 家屋ノ修繕其他工事ニ關スル事
- 九 小使及傭夫ノ使役ニ關スル事
- 十 校内ノ警備及衛生ニ關スル事
- 十一 校内ノ洒掃ニ關スル事
- 十二 此他會計ニ屬スル一切ノ事項

圖書係

- 一 圖書係ニ屬スル文書ノ起案ニ關スル事
- 二 圖書ノ購入及修繕ニ關スル事
- 三 圖書ノ保存整頓出納及貸付等ニ關スル事
- 四 圖書ノ帳簿ニ關スル事
- 五 圖書ノ印ヲ保管スル事

- 六 閱覽室ノ取締ニ關スル事
- 七 此他圖書ニ關スル一切ノ事項

生徒監督係

- 一 生徒監督係ニ關スル文書ノ起案ニ關スル事
- 二 生徒ノ取締ニ關スル事
- 三 生徒ノ宿所調査ニ關スル事
- 四 生徒ノ宿所ヲ巡視スル事
- 五 生徒ノ賞罰ニ關スル事
- 六 寄宿寮ノ設備ニ關スル事
- 七 生徒ノ入退寮ニ關スル事
- 八 寄宿生徒ノ監督ニ關スル事
- 九 寄宿寮ノ警備及衛生ニ關スル事

十 此他生徒ノ訓育及監督ニ關スル一切ノ事項

第二款 學校醫服務規程

- 第一條 校醫ハ學校及寄宿舎ノ衛生ニ關スル職務ニ從事ス
- 第二條 校醫ハ每週三回出勤シテ一定ノ時限服務スヘシ
- 第三條 校醫ハ毎年四月全校生徒ノ身體検査ヲナスヘシ
- 第四條 校醫ハ毎年九月新入學生徒ノ身體検査ヲナスヘシ
- 第五條 校醫ハ衛生上備付ノ藥品及器具器械ヲ保管スヘシ
- 第六條 前各條ノ外學校長ニ於テ必要ト認メタルトキハ校醫ハ臨時出勤シテ生徒疾病ノ診斷身體ノ検査及衛生ニ關スル事務ヲ執ルヘシ

第三款 教授會假規程

- 一本會ハ教授ヲ以テ組織シ學校長之カ議長トナル
- 一本會ノ審議スヘキ要件左ノ如シ

- 一 學科課程ニ關スル件
- 二 試驗及其他成績ニ關スル件
- 三 書籍器械標本等ノ設備ニ關スル件
- 四 前項ノ外臨時學校長ノ諮問事項
 - 一 諮問事件ニ關シ助教授又ハ囑託教員ノ意見ヲ詢フ必要アルトキハ特ニ出席ヲ需ムヘシ

一 開會ノ日時場所等ハ學校長ノ命ヲ承ケ豫メ教務係ヨリ通知スヘシ

第四款 生徒總代規程

第一條 各組ニ正副總代二名ヲ置ク

第二條 總代ハ其組生徒ヲシテ互選セシメ學校長之ヲ命ス

但第一年級ニアリテハ第一學期ニ限リ互選ヲ用ヒス學校長之ヲ命ス

第三條 總代ハ當該組ノ風紀ニ注意シ校規命令ノ實行ヲ務メ教室内ノ秩序及清潔ヲ

保持スヘシ

第四條 總代ノ任期ハ一學年間トス

第五款 生徒通學規程

第一條 本校生徒ハ左ノ書式ニ從ヒ毎年九月十一日ヨリ同月三十日迄ニ其宿所ヲ届出ツヘシ

但自宅若クハ本校職員ノ宅ヨリ通學スル者ハ單ニ其宿所ノミヲ届出ツヘシ

宿 所 届

氏 名		年 齡	職 業	關 係
保證人	住所仙臺市何町何番地 氏 名	何 歲	何 々	生徒父兄ノ何
現宿所主人	住所何(郡)市何町(村)何番地 氏 名	何 歲	何 々	生徒父兄ノ何

現宿所
在現ノ家族及雇人同宿者

			同	同	同
			何歳	何歳	何歳
			何々	何々	何々
			同	同	同
					現宿所主人ノ何

右及御届候也

大學豫科第何部何年何組

年月日

保證人 氏 氏

名 名
印 印

第二高等學校長宛

現宿舍主 氏

名 印

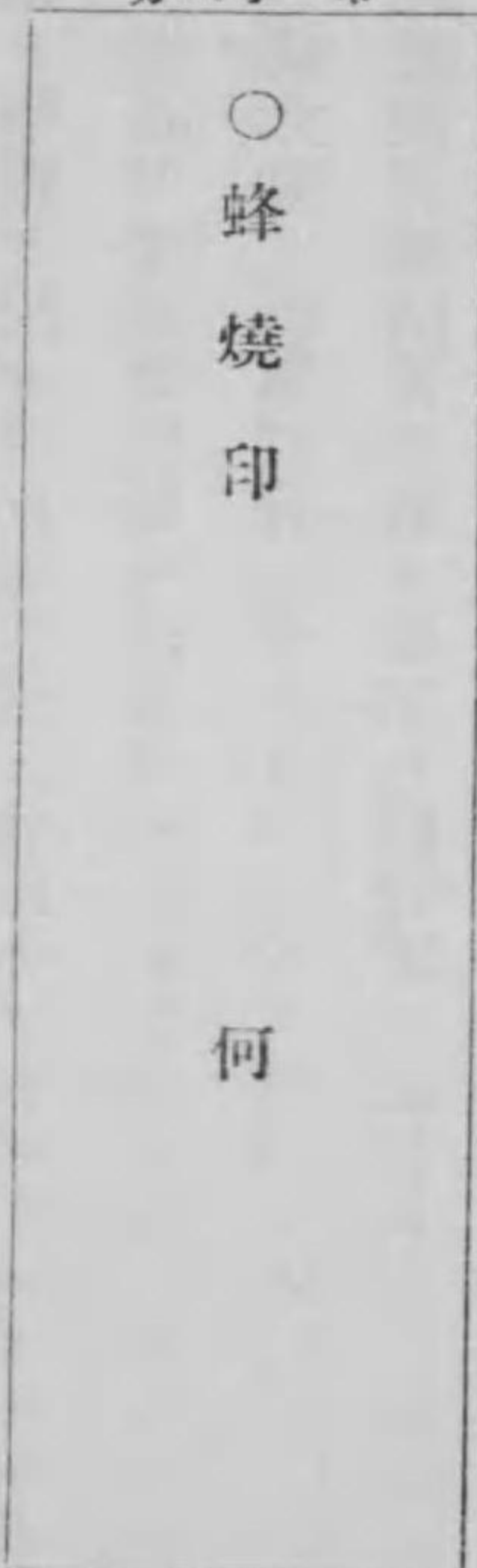
注意現宿所ノ家族住所又ハ雇人同宿者ニ異動アルトキハ更ニ速ニ届出ツヘシ

第二條 生徒轉宿セントキハ三日以内ニ更ニ前條ノ届出ヲナスヘシ

第三條 生徒ハ其宿所ノ門戸ニ左式ノ本校所定ノ標札ヲ掲クヘシ

長サ五寸五分

巾一吋六分



第四條 本校ニ於テ生徒ノ宿所不適當ナリト認ムルトキハ直チニ轉宿セシムルコトアルヘシ

第五條 標札ハ生徒監督係ヨリ交付スヘキニ付毎年九月十一日ヨリ二十日以内ニ各宿所ノ門戸ニ掲クヘシ

第六條 本校ノ學籍ヲ脱シタルトキ又ハ休學中ノモノニシテ一時仙臺市ヲ退去スルトキハ速ニ標札ヲ生徒監督係ニ返付スヘシ

第六款 行軍規程

第一條 兵式體操實地演習ノ爲メ毎年一回行軍ヲ施行ス

第二條 行軍ハ第一學期ニ於テ之ヲ施行シ其日數ヲ四日以内トス

第三條 行軍ハ生徒總員ノ三分ノ一以上缺課スルトキハ之ヲ施行セス

第四條 正當ノ理由ナクシテ行軍ニ缺課スルモノハ相當ノ處分ヲナスヘシ

第五條 行軍ニ關スル諸令ハ其都度之ヲ定ム

第六條 生徒ハ左ノ行軍費ヲ授業料ト同時ニ行軍費會計係ニ納付スヘシ

第一學期 九月 金 參 圓 新 入 生

第二學期 一月 金壹圓五拾錢 一、二年生

第三學期 四月 金壹圓五拾錢 一、二年生

但シ第三年生ニシテ原級ニ止リタルモノハ第一學期ニ於テ金參圓ヲ納ムルモノトス

第七條 既納ノ行軍費ハ行軍ニ缺課スルモ之ヲ返付セス但行軍實費ニ剩餘金ヲ生シタル場合モ亦同シ

第八條 行軍施行ノ際行軍實費ニ不足ヲ生シタルトキハ之ヲ追徴スルコトアルヘシ但行軍費剩餘金ヲ以テ支辨シ得ルトキハ之ヲ徵收セス

第九條 發火演習其他行軍ニ準スヘキ事業又ハ生徒一般ニ關スル事業ニシテ費用ヲ要スルモノアル時ハ行軍費剩餘金中ヨリ之ヲ支辨スルコトアルヘシ

第七款 物品會計規程施行細則

總 則

第一條 本校物品會計ハ物品會計規則及文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ本細則ニ依リ處理スヘシ

第二條 備品消耗品ノ種別ハ概ネ左ノ標準ニ據ルヘシ
一 備品

永久ノ使用ニ耐ヘ其性質形狀ヲ變スルコトナク其用ヲ爲スモノ
二 消耗品

消耗ヲ目的トスルモノ及其性質備品ニ該當スト雖モ硝子製、粗製磁器、薄鐵板製等ニシテ使用頻繁一年以上使用ニ耐ヘスト認ムルモノ

第三條 備品中木質ノモノ及ヒ之ニ類似ノモノニ在テハ總テ番號ヲ烙記シ其他金屬製、磁製、硝子製ノモノニ在テハ番號札ヲ付スルモノトス但品質又ハ使用ノ目的ニ依リ記號シ難キモノハ此ノ限ニアラス

出納

第四條 通常所用ノ備品及消耗品ハ年度ノ始ニ於テ既往ノ所用高ト其年度間ノ狀況ヲ斟酌シ其員數ヲ豫定シテ購入シ之ヲ倉庫ニ藏置シ請求ニ應シテ支給ノ手續ヲナスヘシ

但臨時所要ノ物品ハ其都度購入ノ手續ヲナシ受入ノ後之ヲ支給スヘシ

第五條 物品ヲ請求セントスルトキハ所定ノ用紙ニ品名、數量使用ノ事由ヲ詳記シ會計係ニ請求スヘシ

第六條 會計係ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ學校長ノ裁決ヲ經テ場合ニヨリテハ其數量ヲ減シ又ハ請求ニ應セサルコトヲ得

第七條 物品ヲ交付セントスルトキハ備品ハ總テ物品監守者ノ保管ニ付シ消耗品ハ請求者ニ交付シテ領收證ヲ徴シ若クハ支給簿ニ領收印ヲ捺セシムヘシ

第八條 各室ノ保管ニ屬セサル用品ハ會計係ニ於テ之ヲ調査シ將來使用ノ見込アルモノハ之ヲ保存シ使用ノ見込ナシト認メタルモノハ處分案ヲ具シ學校長ノ裁決

ヲ請フヘシ

第九條 不用品ヲ拂下ケントスルトキハ會計係ニ於テ調書ヲ作り學校長ノ裁決ヲ經テ處理スヘシ

但拂下物品ハ代價領收後物品領收證書ト引換ニ現品ヲ交付スヘシ

保管及監督

第十條 供用物品ノ監守及取扱ニ關スル責ニ任セシムル爲各特別教室及各係ニ監守主任一名取扱主任一名ヲ置ク

但專用品ハ專用者之ヲ監守シ其責ニ任スヘシ

第十一條 物品監守者ハ各特別教室ニアリテハ主任教授各係ニアリテハ當該主任ヲ以テ之ニ充ツ物品取扱主任ハ助教教授及書記以下ヨリ之ヲ任命ス

第十二條 過誤怠慢ニ因シ其ノ保管ニ係ル物品ヲ亡失毀損シタルトキハ速ニ其實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作り會計係ヲ經由シテ學校長ニ具申スヘシ

第十三條 物品監守者交迭ノ場合ハ前任者及後任者ニ於テ監守簿ニ對照シ物品會計官吏立會ノ上引繼ヲナスヘシ

第十四條 甲者ノ監守スル物品ニシテ不用ニ歸シタルモノ乙者ニ於テ必要ナルトキハ甲乙監守者ヨリ其旨會計係ニ通知シ相當ノ手續ヲ經テ現品ノ授受ヲ了スヘシ

第十五條 使用ノ結果自然破損シタル物品アルトキハ現品ヲ添ヘ會計係ニ其修理ヲ請求スヘシ

第十六條 各室ニ於テ不用ニ屬シタル物品アルトキハ速ニ會計係ニ返付スヘシ豫備ノ名ヲ以テ之ヲ留置クコトヲ得ス

第十七條 物品會計官吏ハ毎年一回以上各監守者ニ就キ物品出納簿ト對照シタル監守簿ヲ以テ現品ヲ査閲シ異狀ヲ認メタルトキハ其旨學校長ニ具申スヘシ

帳簿及用紙

第十八條 物品ノ出納ヲ明確ナラシムル爲メ左ノ帳簿及用紙ヲ設ク

一 備品出納簿

器具ノ部

出納命令書ノ發行順ニ依リ各品目別ニ登記ス

一同 上

機械、標本ノ部

出納命令書ノ發行順ニ依リ各學科別ニ累次登記ス

一同 上

圖書ノ部

圖書原簿ヲ以テ之ニ充ツ

一 消耗品出納簿

一 物品監守簿

但甲式ハ器具ニ乙式ハ機械標本ニ用ユ

一 在庫品明細簿

一 消耗品支給命令簿

但在庫品ヨリ支給スルモノニ用ユ

一 物品出納命令書用紙

請求書及領收證接續ノモノ

一 專用品保管證用紙

一 物品處分用紙

但物品ノ廢棄賣却組替訂正等ニ用ユ

物品檢閲

第十九條 學校長ハ物品檢閲委員長一名委員若干名ヲ設ケ本校ノ物品ヲ檢閲セシム

第二十條 物品檢閲委員長及委員ハ毎年六月之ヲ任命シ其任期ハ一ケ年トス

第二十一條 檢閲ノ順序方法ハ其都度委員長ニ於テ指定スヘシ

第二十二條 檢閲ノ日時ハ豫メ委員長ヨリ各物品監守者又ハ取扱主任ニ通牒スヘシ

第二十三條 物品檢閲委員ノ検査スヘキ要領左ノ如シ

一 物品保管ノ適否

一 備品使用ノ適否

一 物品缺損ノ有無

一 消耗品消費ノ適否

第二十四條 在庫ノ物品ニ就テハ物品會計官吏又ハ代理者使用中ノ物品ニ就テハ物品監守者又ハ物品取扱主任者立會ノ上物品ノ檢閲ヲ爲シ物品會計官吏又ハ監守者取扱主任者ハ物品檢閲委員ノ質問ニ應スヘシ

第二十五條 物品檢閲委員ハ檢閲上故障ナキトキハ監守簿ニ檢閲濟ノ檢印ヲナスヘシ若シ故障アルトキハ當該責任者ヨリ顛末書ヲ徵シ物品檢閲委員長ノ意見ヲ具ヘテ學校長ニ申報スヘシ

第二十六條 物品檢閲委員ハ檢査終リタルトキハ檢閲ノ狀況及物品一般ニ就テノ意見ヲ具ヘ委員長ヲ經テ學校長ニ申報スヘシ

第八款 生徒圖書閱覽細則

第一條 閱覽室ハ休日ヲ除ク外毎日之ヲ開ク

但シ開閉時限ハ時々之ヲ告示スヘシ

第二條 圖書借覽ノ證トシテ閱覽票ヲ設ケ每學年始メ圖書係ニ於テ之ヲ交付ス

第三條 閱覽票下付出願ノ者ハ定式ノ用紙ニ級、姓名、年月日等ヲ詳記シ捺印ノ上願出ツヘシ

第四條 閱覽票ハ他人ニ轉貸スルコトヲ禁ス且ツ之ヲ紛失シタルトキハ速ニ其旨圖書係ニ届出ツヘシ

第五條 生徒閱覽室ニ入場ノ際ハ閱覽表ヲ係員ニ差出シ置キ退場ノ際之ヲ受取ルヘシ

第六條 圖書ヲ借覽セントスル者ハ定式ノ閱覽證用紙ニ書名番號並ニ級、姓名、年月日等ヲ詳記シ係員ニ差出スヘシ但閱覽了ラハ直ニ返納スヘシ

第七條 一人ニテ借覽シ得ヘキ圖書ノ部數及冊數ハ係員ニ於テ便宜之ヲ制限スルコトアルヘシ

第八條 借受セル圖書ハ閱覽室外ニ携出スルコトヲ禁ス

第九條 本校藏書ト雖トモ其種類ニヨリ閱覽ヲ許サ、ルコトアルヘシ

第十條 閱覽室ニ入ル者ハ左ノ各號ヲ確守スヘシ

一 閱覽室ニ於テハ喫煙談話音讀並ニ二人以上相會シテ温習ヲナス等凡テ他人ノ
障得トナル舉動ヲ禁ス

二 閱覽室ニハ圖書筆紙墨類ノ外物品ヲ携帯スヘカラス

三 閱覽室ニ於テハ制服又ハ袴ヲ着用スヘシ

四 閱覽室備付卓子椅子等ノ位置ヲ濫リニ變更スヘカラス

第十一條 借受セル圖書ハ鄭重ニ取扱フヘシ若シ汚損又ハ紛失シタルトキハ速ニ届
出テ係員ノ指揮ニ從フヘシ

第十二條 本細則ニ違背シタル者ハ期ヲ限り圖書ノ閱覽ヲ停止スルコトアルヘシ

第九款 圖書閱覽特許假規程

第一條 本校職員生徒以外ノ者ト雖モ學校長ニ願ヒ出テ特許ヲ得タル者ハ本校所藏
ノ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

第二條 閱覽特許ヲ願ヒ出ツルモノハ本校職員若クハ本校ニ於テ適當ト認ムル者ノ
紹介ヲ經テ左ノ書式ニ依リ願書ヲ圖書係ニ差出スヘシ

圖書閱覽特許願

姓 名

右ハ御校御所藏ノ圖書ヲ閱覽致度候ニ付キ紹介者連署ヲ以テ此段相願候也

現住所職業

年 月 日

右本人

姓

名 印

現住所職業

紹介者

姓

名 印

第二高等學校長何某殿

- 第三條 特許閱覽者ノ員數ハ本校ノ都合ニ依リ制限スルコトアルヘシ
- 第四條 閱覽特許ヲ得タル者ニハ本校圖書係ヨリ圖書閱覽票ヲ交付ス
- 第五條 特許閱覽者ハ本校圖書館内閱覽室ニ於テ閱覽スヘシ
- 第六條 閱覽室ハ左ノ休日ヲ除ク外毎日之ヲ開ク
但シ開閉時限ハ時々之ヲ告示ス

- 一日 曜日
- 一 祭日及祝日
- 一 本校開校紀念日（十月二十六日）
- 一 春季休業（四月一日ヨリ同月七日ニ至ル）
- 一 夏季休業（七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル）
- 一 冬季休業（十二月二十五日ヨリ一月七日ニ至ル）

第七條 特許閱覽者閱覽室ニ入場ノ際ハ閱覽票ヲ係員ニ差出シ退場ノ節之ヲ受取ル

ヘシ

第八條 閱覽ノ際ハ係員ヨリ交付スル定式ノ用紙ニ書名番號及姓名等ヲ記シタル閱覽證ヲ係員ニ出シテ所用ノ圖書ヲ借受シ閱覽終リタルトキハ該圖書ヲ直ニ係員ニ返付スヘシ

第九條 特許閱覽者ハ閱覽ニ關スル時々ノ告示ニ注意シ其趣旨ヲ嚴守スヘシ

第十條 特許閱覽者借受シタル圖書ヲ毀損シ若クハ汚染シタルトキハ其情況ニヨリ修繕ヲ加ヘ若クハ同一ノ圖書ヲ以テ償ハシム

第十一條 特許閱覽者ニシテ前條ノ義務ヲ果タサ、ルトキハ紹介者ハ之ニ代リテ其責ニ任スルモノトス

第十二條 特許閱覽者ニシテ不都合ノ行爲アルトキハ學校長ハ直チニ特許ヲ取消スヘシ

第十款 圖書寄託規程

- 第一條 本校圖書館ニ於テ閱覽ニ供シ若クハ保管ヲ請フノ目的ヲ以テ圖書ヲ寄託セントスル者アルトキハ其事情ニヨリ之ヲ承諾ス
- 第二條 圖書ヲ寄託セントスル者ハ其事由、目錄、員數及寄託期限等ヲ詳記シテ本校ニ願出テ承諾ヲ經タル後其圖書ヲ送致スヘシ
- 第三條 寄託者ハ寄託圖書ニ所有者ノ印章ヲ捺スヘシ
- 第四條 寄託ノ圖書ハ本校圖書館所藏ノ圖書ト同様ノ取扱ヲナス
但シ寄託者ノ希望ニヨリテ特別ノ取扱ヲナスコトアルヘシ
- 第五條 寄託圖書ハ一切圖書館以外ニ帶出スルコトヲ許サス
- 第六條 不慮ノ災難ニヨリテ寄託圖書ノ損敗失亡ヲ來スコトアルモ本校ハ其責ニ任セス

第十一款 防火警備心得

- 第一條 本校並ニ本校ヨリ距離凡三丁以內ニ失火アルトキ若クハ其以外タリトモ延

燒ノ虞アリト認ムルトキハ職員及生徒ハ直ニ出校スヘシ

但シ當日疾病ニ罹リ出校シ難キ者ハ其旨届出ツヘシ

- 第二條 執務時間中前條ノ事變アルトキハ庶務係ハ左ノ警鐘ヲ以テ非常ヲ報スヘシ

連點 ○—○—○—○—○—○—○

- 第三條 非常警鐘ノ報アルトキハ生徒監督係ハ臨機適宜ノ場所ニ生徒ヲ召集シ事務員ハ當該係ノ緊要書類ヲ取纏メ共ニ防火警備ニ從事スヘシ

- 第四條 會計係ハ邸内取締及小使消防人足等ヲ指揮監督シ専ラ消防ニ從事スヘシ

- 第五條 庶務係ハ防火ノ爲メ參集セシ本校職員及諸官衙職員其他出入諸商工等ノ氏名ヲ記録シ生徒監督係ハ生徒ノ人員ヲ點檢シ孰レモ翌日迄ニ之ヲ學校長ニ申報スヘシ

- 第六條 執務時間外ニ於テ前條ノ事變アルトキハ宿直員ハ先ツ警鐘ヲ以テ非常ヲ報シ且直チニ各係緊要ノ書類ヲ取纏メ當該主務員ノ出校スル迄内外ノ指揮監督ニ從

事スヘシ

第七條 仙臺市内ニ失火アルトキハ庶務係若クハ會計係(執務時間外ハ宿直員)ハ火元取調ノ爲メ速ニ小使一名ヲ差遣スヘシ若シ本校職員ノ宅又ハ其ノ近火ナルトキハ警備ノ爲メ小使二名ヲ差遣スヘシ

○第六章 職員

學校長

文學士 武藤虎太 熊本

教授

英語

栗野健次郎 岩手

動物及植物

文學士 安田篤 東京

歴史 學校長

文學士 武藤虎太 熊本

物理

文學士 川北清 三重

漢文

瀧川龜太郎 嶋根

獨語

文學士 杉谷泰山 三重

數學

理學士 高野由哉 宮城

國語

岡澤鉦治 長野

英語

文學士 玉蟲一郎 宮城

英語

文學士 土井林吉 宮城

數學	理學士	近江幸治	宮城
化學	理學士	塚本又三郎	大阪
獨語	文學士	小池堅治	東京
獨語	文學士	登張信一郎	廣嶋
圖書、測量	第三高等學校 文學士	神門久太郎	嶋根
論理及心理、獨語	文學士	村木維夫	岩手
法學通論、經濟通論、獨語	法學士	古川邦彦	山口
化學	理學士	加納清三	東京
國語	文學士	小倉博	宮城
漢文	文學士	岩付環	新潟
數學	理學士	湯淺豊五郎	徳嶋
歴史	文學士	阿刀田令造	宮城
物理	理學士	田中務	福岡
修身	文學士	山内雄太郎	新潟
		生徒監	

英語	文學士	鈴木紀一郎	宮城
獨語	文學士	安齋宏策	宮城
獨語	文學士	年岡應市	岡山
獨語	文學士	高橋敬視	宮城
數學	理學士	山内友五郎	新潟
英語		飯塚陽平	茨城
獨語	文學士	福島政雄	熊本
教師			
獨語、羅甸語	ゲオルグ、ウエルフェル Georg Wülfel		獨國
英語、羅甸語	バチロルオファーツ、マストルオファーツ (英國オックスフォード大學) ジョージ、サマレツ、カレール George Sausmarcz Carey		英國
助教			
物理		六波羅 奎太郎	宮城

講師

國語及漢文

體操

歷史

地質及礦物、動物及植物

獨語及英語

獨語

陸軍歩兵大尉

文學士

理學士
東北帝國大學
理科大学囑託

文學士

文學士

菊池純一郎 宮城

岩垂憲德 東京

青柳與太郎 山形

濱田廉 愛媛

吉田新次郎 新潟

佐治秀壽 福岡

萩庭三壽 茨城

牧野猛雄 宮城

大島德太郎 福岡

成田輝宣 福岡

木村一吉 宮城

囑託教員

體操

同

動物及植物

體操

陸軍歩兵大尉

陸軍歩兵中尉

陸軍歩兵特務曹長

劍道

同

柔道

同

弓道

書記

助教授

富山圓 兵庫

櫻田富士麿 宮城

鹽谷仁之助 群馬

久我均光 北海道

阿波研造 宮城

瀧井友規 東京

菊池純一郎 宮城

玉蟲六三郎 宮城

太田資和 宮城

松坂酉七郎 宮城

宮澤抱策 宮城

貝山秀長 宮城

雇

圖書測量教室詰助手
 化學教室詰助手
 同
 物理學教室詰助手
 地質及礦物教室詰助手
 教務部
 教頭
 教頭事務補助
 修身科主任

牧野	清秀	宮城
板橋	英太郎	宮城
男澤	俊之允	宮城
佐藤	喜三郎	宮城
福井	誠一	宮城
阿部	二郎	宮城
加藤	谷次郎	山形
村上	富司	宮城
黑澤	守	宮城
杉谷	泰山	三重
小倉	博	宮城
山内	雄太郎	新潟

國語科漢文科主任
 英語科主任
 獨語科主任
 歷史科主任
 數學科主任
 物理科主任
 論理及心理科主任
 法學及經濟通論主任
 化學科主任
 動物及植物科主任
 地質及礦物科主任
 圖書及測量科主任
 體操科主任
 教務係主任

瀧川	龜太郎	島根
栗野	健次郎	岩手
小池	堅治	東京
阿刀	田令造	宮城
高野	由哉	宮城
川北	清	三重
村木	維夫	岩手
古川	邦彦	山口
塚本	又三郎	大阪
安田	篤	東京
缺		
神門	久太郎	嶋根
青柳	與太郎	山形
松坂	西七郎	宮城

○第七章 生徒 大正七年十月調

第一部第三年甲組(英法文科)

三十六人

(出身中學)	(氏名)	(原籍)	(出身中學)	(氏名)	(原籍)
福嶋相馬	成田儀六	青森	私立東北學院	木村茂樹	宮城
福嶋會津	佐々木平吉	福嶋	山形米澤	莊田次郎	山形
福嶋安積	菅野次郎	福嶋	群馬前橋	一宮亮一	群馬
私立高輪	平松永	和歌山	私立東北學院	高瀬真一	福嶋
長野松本	小池元男	長野	仙臺第一	松本陽二	宮城
秋田大館	齋藤作之助	秋田	福嶋中學	遠藤敏	福嶋
私立海城	井上誠一	東京	福嶋會津	齋藤次郎	福嶋
私立順天	池城安信	沖繩	北海道札幌	山口嘉七	北海道
福嶋會津	坂内喜代藏	福嶋	長野中學	田中磐根	長野
私立早稻田	時野谷貞	茨城	東京第四	岡田豊	京都
福嶋安積	齋藤明	福嶋	仙臺第一	丁子忠	宮城

青森中學	中里建夫	宮城	宮城古川	大芝信夫	東京
仙臺第二	高屋威雄	宮城	長野飯田	北原廣男	長野
青森中學	萱場昌	宮城	茨城水戸	森俊夫	茨城
仙臺第一	宮本鐵之助	宮城	私立錦城	河鰭彦治郎	宮城
長野松本	増田啓策	長野	福嶋會津	新城賢治	福嶋
豫第一高等學校	劉侃	支那	京都第一	山根高遠	嶋根
豫第一高等學校	毛元	支那	豫第一高等學校	龍守賢	支那

第一部第三年乙組(獨法文科)

三十五人

私立早稻田	竹内仁	東京	東京高師附屬	鈴木國久	東京
山形莊内	松木俠	宮城	新潟中學	中澤一男	長野
長野中學	田中泉	長野	青森中學	金子滋男	岩手
宮城白石	齋藤正一	福嶋	私立青山學院	南部晴光	東京
群馬前橋	青柳秀夫	群馬	福嶋中學	中村寛	福嶋

東京第一	青木秀男	山形	新潟村松	堀隆三	新潟
岩手盛岡	堀合正男	岩手	北海道旭川	鶴野橋之丞	北海道
豫第一高等學校	周繼	支那	北海道札幌	岡崎一夫	北海道
愛知第一	鹿又文雄	宮城	山形莊内	松島清	山形
山形中學	山本善男	山形	私立豊山	檜岡茂	山形
新潟村松	渡邊浩哉	新潟	群馬太田	大島二郎	群馬
宮城築館	松田茂樹	宮城	北海道札幌	小林三郎	北海道
私立青山學院	鮫嶋龍雄	東京	仙臺第一	深澤吉郎	神奈川
山梨甲府	遠藤朗	山梨	仙臺第一	吉田綱紀	宮城
私立曉星	瓜生昌	東京	私立麻布	中澤恭	長野
青森中學	佐々木日出男	宮城	私立京華	江場盛次	東京
高知第一	有澤廣己	高知	私立東北學院	村松久義	宮城
豫第一高等學校	陶仲支那				

第一部第二年甲組(英法文科)

四十三人

神奈川横須賀	阿部勇	宮城	神奈川小田原	大内文雄	岩手
静岡中學	杉村正	静岡	山形新莊	工藤鐵太郎	山形
大阪北野	阪本勝	兵庫	私立高千穂	平岩弁一	愛知
東京第三	田中松太郎	東京	栃木宇都宮	酒井高重	栃木
私立麻布	川良實	長崎	青森中學	關谷直司	青森
長野飯田	大平富雄	長野	豫第一高等學校	龍守榮	支那
東京高師附屬	小幡清金	東京	秋田中學	中村八郎	秋田
東京高師附屬	宮本廣大	東京	朝鮮總督府	楠田文雄	福嶋
私立日本體育	松本政徳	東京	仙臺第一	鷹野剛	茨城
東京第一	山口乾治	長野	埼玉川越	長小次郎	石川
神奈川第一	福田榮一	神奈川	東京第一	佐藤龍夫	東京
横濱	川守田勤治	岩手	山形莊内	田村喜一郎	山形
岩手福岡	西川武夫	福岡	宮城築館	鈴木哲夫	宮城
福岡修猷館	三瓶榮藏	福岡	仙臺第二	針生六郎	宮城
福嶋會津					

群馬高崎	北村一郎	秋田	神奈川第一	井上金三	神奈川
私立開成	河村卓彌	岡山	福嶋相馬	岡田弘成	福嶋
新潟中學	伊藤伊八郎	新潟	豫第一高等學校	耿熙	旭支那
豫第一高等學校	王佐臣	支那	私立麻布	牧野四郎	新潟
新潟中學	小出喜八重	新潟	豫第一高等學校	黃光斗	支那
東京第四	赤堀秀雅	東京	東京第一	三善清胤	香川
私立早稻田	留岡清雄	岡山	私立芝	原久雄	東京
群馬沼田	黑岩芳平	群馬			
第二部第二年乙組(獨法文科)					
四十三人					
仙臺第一	島中尚志	宮城	福嶋會津	齋藤亮	福嶋
仙臺第一	武藤智雄	熊本	福嶋會津	遠藤直人	福嶋
宮城古川	橫江四朗	宮城	千葉成東	櫻井茂樹	千葉
岩手盛岡	寺田芳夫	青森	宮城白石	鈴木彰五	宮城
私立早稻田	猪狩真泰	福嶋	福嶋中學	田中清	佐賀

東京第一	石井英之助	東京	學習院	岡村三二郎	東京
仙臺第二	堀真琴	宮城	岡山中學	三吉信隆	廣嶋
岩手盛岡	川井寛次郎	岩手	仙臺第一	熊谷謙三	宮城
私立錦城	後藤悦三郎	岩手	茨城太田	大津正	茨城
山口徳山	莊原達	山口	長野松本	岡正	長野
栃木中學	小山陸二	栃木	千葉中學	鈴木清	千葉
新潟中學	小澤太吉	新潟	高知第一	丁野一郎	高知
豫第一高等學校	何畏	支那	愛知第四	富田英太郎	愛知
山形新莊	大塚彰	山形	長野野澤	柳澤武雄	長野
豫第一高等學校	閣傅	支那	富山高岡	高辻武邦	富山
私立錦城	井上泰三	栃木	仙臺第一	森長	宮城
私立東京	友成輝男	兵庫	私立同志社	及川勝	岩手
秋田本莊	小松治郎吉	秋田	栃木大田原	高田巖	栃木
私立東北中學	鈴木東民	岩手	福嶋相馬	渡部宏綱	福嶋

私立麻布 栗原宮雄 三重
 私立京華 渡邊 潔 大分
 栃木宇都宮 中村義郎 栃木

茨城龍ヶ崎 岡野文之助 茨城
 茨城龍ヶ崎 成島慎二 茨城

第一部第一年甲組(英法文科)

四十五人

栃木宇都宮 高階武雄 栃木
 山形米澤 野口重夫 山形
 私立芝 北川桃雄 東京
 福嶋相馬 井戸川 信 福嶋
 千葉中學 根本 巖 千葉
 北海道札幌 小林 清 北海道
 青森中學 岡野三郎 青森
 岩手盛岡 横川次郎 福嶋
 長野野澤 宮崎 章 長野
 茨城水戸 田澤哲四郎 茨城

私立東北學院 五十嵐 信 山形
 私立開成 町村金五 北海道
 榊太廳 下出繁雄 北海道
 東京高師附屬 塚越敏夫 群馬
 山梨甲府 加藤祇文 山梨
 私立麻布 渡邊 重 岩手
 私立立教 高橋一郎 静岡
 茨城龍ヶ崎 小林重夫 茨城
 長野中學 佐藤欣二 長野
 東京高師附屬 大澤三千三 東京

仙臺第一 高橋彌助 宮城
 大阪今宮 山野茂樹 大阪
 東京第四 一木章三郎 静岡
 新潟長岡 田中九郎 新潟
 私立開成 岡村二郎 東京
 私立東北學院 柏山清一 宮城
 千葉中學 須田 滋 千葉
 青森八戸 内山 猛 青森
 宮城古川 佐々木二郎 宮城
 埼玉粕壁 田中禮三 埼玉
 静岡掛川 山崎三二 静岡
 群馬藤岡 長澤正信 埼玉
 豫第一高等學校 揚學 穎支那

新潟中學 小熊幸司郎 新潟
 石川金澤 寺島 毅 山形
 私立同志社 志水波一 東京
 福嶋相馬 加藤利助 福嶋
 私立開成 藤本謙治 東京
 北海道札幌 山崎直道 北海道
 仙臺第一 高橋虎雄 宮城
 神奈川横須賀 大友 基 宮城
 私立早稻田 四方謙治 東京
 私立麻布 湯原秀雄 東京
 東京高師附屬 齋藤正路 岩手
 豫第一高等學校 袁學 海 支那

第一部第一年乙組(獨法文科)

四十三人

山形米澤	齋藤修一	山形	長野松本	池上鎌三	長野
山形莊内	加藤八郎	山形	千葉大多喜	永島富重	千葉
静岡沼津	鈴木慶素	静岡	東京第一ニテ 檢定	梅原松次郎	静岡
朝鮮京城	加來倉造	福岡	東京第四	筒江功	北海道
山梨甲府	清水清	山梨	山形中學	伊藤省	山形
新潟長岡	小島財治	新潟	神奈川第一 横濱	宮田忠雄	神奈川
仙臺第一	渡邊文治郎	宮城	樺太廳	佐藤俊男	山形
長野諏訪	小澤正元	長野	仙臺第一	加藤成友	宮城
兵庫洲本	白川正雄	兵庫	青森中學	菊池庚子三	青森
私立立教	奥山信一	東京	千葉成東	若菜信雄	千葉
仙臺第一ニテ 檢定	氏家武	宮城	千葉木更津	天野敏雄	千葉
仙臺第一	氏家正夫	宮城	秋田横手	伊藤大助	秋田
私立成城	坂本敬二	東京	茨城下妻	廣瀬勝	茨城
神奈川第一 横濱	猪熊董吉	神奈川	仙臺第一	佐藤敏	宮城

山形中學	大場衛	山形	長野諏訪	今井毅積	長野
私立京北	金田平一郎	茨城	茨城下妻	海老澤武	茨城
群馬太田	三田廣一	栃木	仙臺第二	船木喬	青森
山形莊内	伊藤藤次郎	山形	私立錦城	高橋三郎	宮城
栃木宇都宮	釜井盛四郎	栃木	新潟柏崎	安野茂	新潟
山形中學	阿部市五郎	山形	仙臺第一	山合熊治	岩手
東京第一	秋山徳三郎	東京	東京第三	森喜一	東京
私立正則	金佑杵	朝鮮			

第二部第三年甲組(工科)

四十八人

仙臺第二	本多侃士	長野	秋田本莊	大森	秋田
栃木中學	伊澤惣作	栃木	私立東北學院	高村國雄	長野
宮城角田	湯村房治	宮城	私立京北	岡俊平	岡山
埼玉粕壁	石川薰	埼玉	福岡相馬	井戸川春三	福岡
東京第三	藤井永三郎	東京	青森弘前	吉安秋夫	滋賀

山形米澤	平賀兵二	山形	私立開成	山田信四郎	東京
愛媛松山	小林元義	愛媛	秋田大館	加賀谷金之助	秋田
東京高師附屬	小林正美	東京	私立郁文館	保倉長三郎	東京
神奈川第一	船越寛次郎	神奈川	岩手盛岡	斗ヶ澤賢治	岩手
鹿兒嶋第一	長澤昇三	東京	大阪八尾	中原武	岩手
仙臺第一	片平操吾	宮城	朝鮮總督府	岡田弘	東京
關東都督府	菊池麟平	長野	埼玉川越	稻邊門兵衛	埼玉
旅順	高橋秀顯	鹿兒嶋	東京第四	熊谷正昭	東京
私立麻布	齋藤眞六	宮城	茨城水戸	中村小四郎	宮城
仙臺第一	西卷菊藏	新潟	青森弘前	水木武善	青森
私立錦城	磯部磯七	神奈川	東京第四	茂上孝二	東京
神奈川第一	上村保	東京	仙臺第二	船木榮	北海道
私立開成	鈴田正達	東京	埼玉熊谷	西田進	埼玉
東京第一	池知正夫	東京	豫第一高等學校	劉守愚	支那

福嶋磐城	谷崎清吉	福嶋	私立開成	小野崎淳	岩手
北海道札幌	小栗操	岩手	東京第一	小平禎三	東京
私立明倫	太田房夫	山梨	北海道函館	守井正雄	北海道
東京第一	櫻井英記	東京	静岡沼津	中谷俊朗	兵庫
新潟長岡	近藤杉樹郎	新潟	豫第一高等學校	榮乃心	支那

第二部第三年乙組(理科) 四十一人

新潟中學	松井正夫	新潟	千葉中學	落合英二	栃木
山形米澤	高橋酉藏	山形	青森中學	荒田狷介	青森
栃木宇都宮	見目濱司	栃木	私立京北	小坂乙吉	宮城
福嶋磐城	石井市重郎	福嶋	栃木中學	大塚明郎	埼玉
福嶋磐城	鈴木康平	福嶋	私立島山	小堀巖	栃木
栃木中學	相原一男	山形	佐賀唐津	中村清	佐賀
東京第二	星四郎	東京	私立京北	沼尻精一	東京
秋田横手	服部義三郎	秋田	青森弘前	菊池末太郎	青森

神奈川第一	三堀三郎	神奈川	福嶋安積	齋藤浩三	福嶋
私立高千穂	安東芳夫	東京	仙臺第一	奈良武男	宮城
私立東北學院	武内三郎	宮城	秋田大館	渡邊一治郎	秋田
茨城水海道	武藤武四郎	茨城	北海道札幌	橋	北海道
私立麻布	菅野是夫	福嶋	岩手一關	興津吉武	岩手
群馬前橋	永井研三	群馬	福嶋中學	鳥山武雄	群馬
仙臺第一	有馬護陸	宮城	北海道函館	今田房雄	福井
栃木大田原	神田秀太郎	栃木	福嶋中學	志賀孝平	福嶋
宮城角田	渡邊英四郎	宮城	私立開成	男全敏三	東京
仙臺第二	小山祥	宮城	仙臺第一	田島六郎	石川
私立攻玉社	宮崎勝滋	賀	京都第四	矢部成太郎	新潟
茨城水戸	八幡清兵衛	茨城	私立京北	堀内仁麿	東京
豫第一高等學校	孫	支那			

第二部第三年丙組(農科)

二十八人

私立麻布	片桐英郎	長野	東京第四	鴨下寛	東京
私立麻布	廣澤春彦	青森	三重第二	清水透	三重
私立麻布	羽田次郎	東京	仙臺第一	大友佐次郎	宮城
山形米澤	増淵信助	山形	私立商工	澤倫次	千葉
山形中學	田中庄助	山形	岩手一ノ關	小野寺二郎	岩手
千葉中學	海鹽義男	廣嶋	千葉中學	谷中多聞	千葉
栃木宇都宮	松井泉也	栃木	福岡豊津	稻葉瑞穂	福岡
京都第一	難波得三	岡山	東京第四	田中隆二郎	秋田
宮城築館	近藤喜久治	宮城	茨城水戸	横山正道	茨城
山形中學	漆山清二	山形	仙臺第一	鐵本總吾	宮城
私立錦城	赤田重雄	福岡	仙臺第二	助川寛	宮城
石川七尾	野村紀二	宮崎	仙臺第一	佐藤幸一	岩手
新潟長岡	齋藤	福嶋	私立開成	片倉健二	東京
東京第一	安川泰三	東京	私立開成	齋藤省三	佐賀

第二部第二年甲組(工科)

四十人

新潟中學	關三郎	新潟	秋田大館	石田新藏	秋田
茨城水戸	石井忠政	秋田	新潟中學	根津丸六	新潟
宮城白石	山司房太郎	宮城	新潟村松	近藤鐵郎	新潟
札幌第一	泉谷松太郎	北海道	仙臺第一	沼倉秀穂	宮城
北海道小樽	宮村慶次	北海道	山口豊浦	大高重治郎	山口
私立大成	川村吟次郎	岩手	仙臺第二	白石勇	宮城
千葉中學	増田俊	千葉	仙臺第二	船久保英一	宮城
新潟中學	新谷昂吉	新潟	仙臺第一	門脇喜惣右衛門	宮城
東京高師附屬	楠美喬	東京	岩手盛岡	長澤忠郎	岩手
神奈川横須賀	佐藤敏夫	神奈川	山形中學	杉浦昌雄	山形
長野諏訪	立木勝藏	長野	山形米澤	會澤利	茨城
東京高師附屬	矢田部敏夫	東京	秋田横手	小味淵肇	秋田
仙臺第一	淺野利吉	宮城	北海道函館	阿部良之助	北海道

第二部第二年乙組(理科)

四十二人

新潟村上	藤田奥藏	新潟	福嶋相馬	鈴木治亮	福島
神奈川第一	手島虎雄	神奈川	東京高師附屬	南信一	新潟
静岡沼津	後藤憲一	静岡	仙臺第一	岩崎高雄	熊本
仙臺第一	于長富	支那	静岡中學	高橋越二	滋賀
仙臺第二	佐藤護	宮城	福嶋安積	棚木范	福嶋
仙臺第二	坂本龍夫	宮城	山形新莊	井關正男	山形
福嶋磐城	杉山一男	埼玉	第一高等學校	朱經古	支那
青森弘前	高松豊	青森	秋田中學	江畑弘毅	秋田
仙臺第一	高橋友直	宮城	私立蓮子開成	益田峯一	神奈川
札幌第二	森本糸逸	北海道	札幌第一	佐藤久次	北海道
東京第三	清水吉之助	東京	岩手盛岡	千葉三郎	青森
私立成蹊	妻木徳一	東京	東京第四	嶺脇四郎	秋田
東京第一	木村慶太郎	茨城	福嶋安積	市原哲治	福嶋

東京高師附屬	相良佐男	熊木	新潟佐渡	渡邊洲藏	新潟
栃木宇都宮	手塚昇一	栃木	栃木宇都宮	篠崎長之	栃木
神奈川小田原	白井俊明	東京	東京第三	遠藤義臣	東京
東京第一	富倉徳次郎	東京	山形新莊	喜多正一	奈良
長野中學	中村九郎	長野	東京第四	田中穰	東京
東京第一	田村初太郎	東京	福岡小倉	大原重周	東京
神奈川小田原	柏木民次郎	神奈川	北海道函館	福永忠雄	北海道
仙臺第一	村井淳吉	福岡	岩手盛岡	諏訪哲郎	岩手
京都第五	近澤陽一	京都	東京高師附屬	山下三之助	埼玉
東京順天	松浦和雄	群馬	東京第一	鈴木豊	東京
神奈川第一	脇本榮治	兵庫	私立京華	矢作五三郎	東京
横濱	中山毅	宮城	神奈川第一	鈴木直吉	愛知
仙臺第二	川添熙	静岡	秋田中學	阿部三郎太郎	秋田
東京第一	和田喜親	北海道	仙臺第一	岩泉脩次郎	宮城
北海道函館					

第二部第二年丙組(農科)

長野松本	寺村康三	長野	千葉佐倉	鶴澤正造	千葉
静岡掛川	久野重一郎	静岡	私立京華	有山恒	東京
千葉成東	若菜俊雄	千葉	山形中學	今野圓藏	山形
山形米澤	太田彌次郎	東京	群馬高崎	塚越保	群馬
東京第一	小林彌吉	東京	長野諏訪	武居文助	長野
東京第四	茂木剛	秋田	仙臺第一	高橋金之助	宮城
私立早稲田	中山正章	山梨	私立開成	青木邦男	東京
東京高師附屬	山田邦雄	長野	静岡沼津	田杉平司	静岡
新潟高田	大島竹治	新潟	私立錦城	佐藤勘之助	新潟
茨城水戸	篠原文郎	茨城	長野中學	服部正臣	岐阜
山形中學	西東孝造	山形	私立開成	梶井篤	廣嶋
東京第一	大野光徳	千葉	臺湯總督府	澁谷武雄	山形
東京第一	荒木信郎	東京	中	岩崎康男	新潟
東京第一			新潟高田		

福嶋會津 結城朝恭 福嶋
 朽木第三 青山掌多 朽木
 長野諏訪 北澤嘉壽雄 長野
 山形中學 西谷正太 山形
 東京第一 堤時夫 東京

第二部第一年甲組(工科)

四十四人

福嶋會津 手代木正雄 福嶋
 北海道札幌第一 石崎正一 北海道
 仙臺第一 平塚喜造 宮城
 北海道札幌第二 大井上博 北海道
 三重第一 中村三男 山口
 秋田中學 佐藤清治 秋田
 北海道札幌第一 永田雄一郎 北海道
 宮城白石 矢内信太郎 宮城

新湯高田 西崎誠一 岡山
 樺太廳 山野隼人 山口
 私立京華 長谷川新二 東京
 北海道札幌第二 伊勢田武 北海道
 私立天理 植田一 奈良
 茨城土浦 松浦孝次 茨城
 私立東北中學 濱田隆 宮城
 千葉中學 土井正中 福岡

群馬前橋 樋口竹太郎 群馬
 茨城土浦 片岡勝平 茨城
 山形中學 進藤吉平 山形
 茨城水戸 光明志郎 高知
 神奈川横須賀 中谷潔 神奈川
 仙臺第二 菊地英文 宮城
 長野松本 藤森芳夫 長野
 東京第四 玉崎坦 福井
 私立大成 神山政吉 朽木
 千葉中學 並木重郎 東京
 私立京華 奧明 廣嶋
 朽木宇都宮 黒崎英雄 朽木
 私立明大 金鎮 兎 朝鮮
 豫第一高等學校 虞紹唐 支那

仙臺第一 吉田次郎 三重
 北海道旭川 山崎憲之資 北海道
 私立北海 伊藤榮 岩手
 仙臺第二 高野文明 新潟
 東京第四 本間雅治 東京
 青森中學 古我源吉 青森
 仙臺第一 櫻井健治郎 宮城
 福嶋會津 兒島重次郎 福嶋
 仙臺第二 大野嘉市 宮城
 長野諏訪 小川 長野
 朽木真岡 柳 武 朽木
 豫第一高等學校 黃 詮 支那
 豫第一高等學校 李才 彬 支那
 豫第一高等學校 張昌 熙 支那

第二部第一年乙組(理科)

三十八人

私立京華	三雲隆三郎	東京	東京第四	山田恕一	東京
東京第四	森基一	東京	私立開成	岡田群司	千葉
私立逗子開成	中村里美	長崎	私立京華	片田慶三	東京
奈良五條	松山芳治	奈良	岩手福岡	下斗米直昌	岩手
福井小濱	藤田賀一	福井	神奈川横須賀	大塚喜久治	神奈川
東京第三	加藤鼎	山形	東京第一	喜多正夫	奈良
私立成蹊	野口太郎	兵庫	宮城角田	岩淵兵七郎	宮城
私立京北	中西儀右衛門	東京	仙臺第一	永井健三	宮城
千葉中學	市原茂	千葉	神奈川第一	早川數馬	神奈川
東京第四	下村彦一	兵庫	山口中學	波多野正信	山口
愛知第二	鈴木廉三九	愛知	栃木大田原	川崎徳治	栃木
私立東北學院	阿部欣二	宮城	私立明治	國富信夫	東京
福嶋會津	猪俣一郎	福嶋	私立開成	金子明	埼玉

第二部第一年丙組(農科)

三十七人

私立京華	風岡文吾	愛知	仙臺第一	高橋虎之助	宮城
私立明治	齋藤正一郎	秋田	私立鳳鳴	長澤徹	兵庫
仙臺第一	涌澤充	宮城	私立早稻田	原賢次	東京
神戸第二	小林明夫	長野	新潟佐渡	渡邊正樹	新潟
私立明倫	上田武雄	兵庫	神奈川第一	伊東富雄	神奈川
埼玉熊谷	羽鳥文	埼玉	京城私立中央	李熙	朝鮮
朝鮮釜山	長谷川繁治	大阪	廣嶋中學	沖本數一	廣嶋
新潟高田	武田雅夫	新潟	仙臺第一	二瓶貞一	宮城
東京第四	東武夫	東京	千葉安房	飯岡龍雄	岩手
長野諏訪	矢島彌太郎	長野	群馬富山	猿谷嘉吉	群馬
大阪堺	鈴木榮二	奈良	私立開成	田中庄治郎	東京
青森弘前	石村幸四郎	青森	山梨日川	庄司元吾	山梨
宮城佐沼	佐藤廉	宮城	兵庫第一神戸	長谷川勇雄	兵庫

香川三豐	加藤 優	香川	靜岡濱松	熊谷 光	靜岡
高知海南	千種 虎正	高知	私立早稻田	五代 正友	東京
福岡磐城	丸山 智明	宮城	朝鮮京城	清水 勇生	福岡
私立麻布	吉田 正信	長野	兵庫第二神戸	堀 辻	愛媛
私立赤阪	高木 幹雄	東京	私立開成	今川 俊雄	東京
茨城水戸	増山 義雄	茨城	福岡安積	柳 沼得三	福岡
第一鹿見鳴	森山 誠二	鹿兒島	大分杵築	伊藤 完二	大分
私立芝	新造 至孝	山口	朝鮮京城	相川 不盡夫	神奈川
神奈川第一	佐々木 敬夫	嶋根	福岡八女	富安 彌之助	福岡
横濱	齋藤 三郎	愛知	嶋根松江	伊藤 祐信	長野
愛知第一	齋藤 龍猪	愛知	三重第二	館 勇三	三重
愛知第五	佐藤 慶四郎	東京			
私立京北					

第三部第三年甲組(醫科)

三十三人

仙臺第一 一見 越一夫 三重
 朽木宇都宮 和氣 巖 朽木

北海道小樽	中村 信雄	北海道	埼玉粕壁	丸山 正	埼玉
群馬前橋	黒澤 武也	群馬	秋田中學	宮越 精一郎	秋田
福岡相馬	鈴木 清治	福岡	岩手福岡	山崎 幸八	岩手
山口豊浦	木村 久雄	山口	岩手一關	泉 治郎	岩手
福岡會津	齋藤 等	福岡	山形中學	庄司 俊三	山形
私立明倫	長谷川 宗憲	愛知	宮城角田	鈴木 十郎	宮城
静岡韭山	舟久保 治	山梨	茨城龍ヶ崎	渡邊 勳	茨城
北海道函館	國領 武三	北海道	青森弘前	笹田 衛	青森
山形中學	須貝 慶治	山形	私立埼玉	小峯 茂三郎	埼玉
山形米澤	松木 與市	山形	福岡安積	諸根 英一	福岡
茨城龍ヶ崎	武藤 完雄	茨城	仙臺第二	大橋 宏一	宮城
岩手盛岡	佐藤 純一郎	岩手	廣嶋吳	天野 匡	廣嶋
福岡嘉穂	大場 保雄	福岡	私立成田	大木 武雄	千葉
宮城築館	宮城 築館	宮城	埼玉粕壁	川田 理	埼玉

靜岡中學 深澤觀一郎 靜岡
仙臺第一 大江利雄 宮城

長野松本 高山良男 長野

第三部第三年乙組(醫科)

三十八人

神奈川厚木	三橋千秋	神奈川	東京第三	鈴木啓治	千葉
仙臺第二	鈴木重武	青森	私立郁文館	若濱市三郎	北海道
福島磐城	野田宏	福島	仙臺第一	猪苗代六郎	宮城
私立東北學院	多田三郎	宮城	埼玉熊谷	吉田太助	埼玉
仙臺第二	勝又春三	宮城	新潟中學	薄田七郎	新潟
私立島山	川俣二郎	栃木	私立北海	菊池清一	秋田
千葉佐原	根本衛	茨城	仙臺第二	中島義四郎	宮城
群馬高崎	岸芳男	群馬	東京第四	青木信道	茨城
宮城古川	岡信剛	宮城	學習院	増田六之助	東京
長野諏訪	寺島清七	長野	群馬沼田	佐藤薰	群馬
茨城龍ヶ崎	村井廣司	茨城	仙臺第一	桂島忠良	宮城

岩手盛岡	小山卓郎	福島	東京第四	小林專一	東京
埼玉川越	堀内洪	長野	福島會津	大庭榮雄	福島
山形米澤	太田孝市	山形	山口組合立	勝部仙介	山口
北海道函館	藤野信一	北海道	山梨甲府	丘村稱文	富山
私立京北	小川信三	靜岡	廣嶋中學	千秋四郎	石川
宮城古川	三浦孚	宮城	廣嶋中學	前廣至朗	廣嶋
東京第三	木原玉汝	千葉	私立京北	衣表直彦	東京
東京高師附屬	川島震一	東京	私立東北中學	相澤齋治	宮城

第三部第二年甲組(醫科)

四十三人

新潟小千谷	關覺二郎	新潟	秋田大館	澤田榮三郎	青森
山形米澤	水無瀬繁雄	山形	埼玉粕壁	江森昌治	埼玉
和歌山中學	近藤直人	鳥取	山形中學	海老名敏明	山形
秋田中學	齋藤浩藏	秋田	新潟村松	五十嵐親龍	新潟
秋田中學	寺内孝二郎	秋田	新潟新發田	桂重次	新潟

茨城下妻	鈴木	達	茨城	茨城水戸	原田	昇	茨城
埼玉粕壁	山口	浩	埼玉	青森弘前	加島	豊吉	青森
秋田中學	深味	三郎	秋田	私立開成	千秋	弘道	東京
栃木真岡	石川	房吉	栃木	佐賀中學	犬塚	道夫	佐賀
仙臺第二、檢定	草刈	兵衛	宮城	北海道函館	齋藤	堅治	北海道
私立東北	遠藤	榮作	宮城	和歌山中學	木村	又	和歌山
岩手盛岡	工藤	祐三	岩手	仙臺第二	西條	實	宮城
山形中學	須貝	龜壽雄	山形	私立曉星	瀨尾	道真	東京
東京第三	塚田	進	長野	新潟小千谷	山本	武夫	新潟
群馬沼田	角田	茂雄	群馬	福島安積	渡部	貞助	福島
私立京華	前島	量一	山梨	静岡中學	市川	格之助	静岡
北海道上川	湯本	昇	北海道	仙臺第二	瀨戸	八郎	宮城
和歌山中學	松見	一男	和歌山	茨城土浦	關	幾次郎	茨城
私立芝	深瀬	周二	山形	青森弘前	松田	操	青森

第三部第二年乙組(醫科)

三十七人

私立開成	尼子	國男	東京	青森弘前	川口	清俊	青森
私立錦城	保坂	信英	新潟	私立京華	龜田	俊雄	千葉
茨城龍夕崎	寺田	和	茨城				
福嶋中學	西山	保雄	福嶋	新潟中學	權平	豊三郎	新潟
私立開成	阿部	忠雄	東京	栃木中學	柏崎	晃	栃木
仙臺第二	岡原	芳男	秋田	福嶋中學	吉田	圭策	福嶋
茨城下妻	中山	榮之助	茨城	福嶋安積	佐久間	正一	福嶋
神奈川厚木	古澤	平作	神奈川	秋田本莊	小松	周治	秋田
仙臺第一	富永	守	宮城	新潟中學	石川	保	新潟
仙臺第一	寺木	小太郎	宮城	山形米澤	和田	義雄	山形
栃木大田原	渡邊	俣	栃木	栃木中學	根本	泰助	茨城
千葉佐倉	三枝	豊	千葉	秋田中學	渡邊	武雄	秋田
福嶋中學	福原	文雄	廣嶋	仙臺第一	木内	弘	山形

仙臺第一	青森中學	田邊稻雄	青森
栃木中學	北海道札幌第一	馬島徹	東京
北海道札幌第一	山形中學	田中茂太郎	山形
京都第二	長野中學	吉澤五郎	長野
仙臺第一	千葉大多喜	鹽田西雄	千葉
茨城土浦	仙臺第一	高橋廣治	宮城
新潟長岡	青森弘前	伊東五一郎	青森
廣嶋忠海	新潟佐渡	中山吾市	新潟
岩手盛岡			
第三部第一年甲組(醫科)			
四十一人			
栃木中學	青森中學	澤田定次	石川
北海道札幌第一	新潟長岡	南雲千秋	新潟
栃木宇都宮	埼玉川越	田中小一	東京
千葉木更津	仙臺第二	大町毅	宮城

山梨甲府	福嶋安積	杉山精一	福嶋
長野飯山	山形中學	幡野實	山梨
新潟柏崎	北海道札幌第二	清原慶彰	宮城
三重第二	新潟村上	菅原文知	新潟
埼玉熊谷	神奈川第一	五味朝一郎	神奈川
長野上田	北海道札幌第一	近藤潤四郎	北海道
三重第一	秋田中學	富永哲夫	秋田
岩手盛岡	埼玉熊谷	小川良悅	埼玉
宮城古川	秋田中學	竹內幸次郎	秋田
關東都督府	私立京華	福地健二	東京
山形米澤	廣嶋高師附屬	大林忠彦	廣嶋
北海道札幌第一	青森弘前	今岡健太郎	青森
茨城水戸	長野飯田	代田稔	長野
福嶋會津	仙臺第二	鈴木誠	宮城

宮城角田 玉田政助 宮城
 宮城古川 内海静 宮城
 京都同志社 林師古 臺灣

青森弘前 木村兼三郎 青森
 仙臺第二 井村孫一郎 宮城

第三部第一年乙組(醫科)

四十一人

群馬前橋 屋代周二 群馬
 長野中學 山下真 長野
 北海道札幌第一 鈴木幹 北海道
 福嶋磐城 諸橋鐵彌 福嶋
 長野松本 野中茂乘 長野
 宮城白石 宮城秀夫 福嶋
 栃木大田原 阿久津敏夫 栃木
 私立麻布 齋藤一太郎 岡山
 私立東北學院 角南春洋 岩手
 私立三田 池田吉人 兵庫

群馬太田 宮田直人 群馬
 茨城水戸 松倉三郎 茨城
 福嶋相馬 遠藤春雄 福嶋
 仙臺第一 金虎雄 宮城
 靜岡葦山 大川俊男 靜岡
 仙臺第二 清水武夫 宮城
 青森中學 伊藤昭七 青森
 山形新莊 庄司重之 山形
 神奈川厚木 白木正 神奈川
 北海道旭川 三谷治雄 石川

長野諏訪 高波誠治 新潟
 秋田中學 三浦貞雄 秋田
 京都第一 中目誠吾 岩手
 福嶋安積 今井忠次郎 福嶋
 愛媛宇和嶋 井上武 愛媛
 新潟新發田 涌井安彦 新潟
 仙臺第一 福井文俊 宮城
 仙臺第二 上田耕作 宮城
 秋田中學 加藤謙一 秋田
 茨城土浦 久米治彦 茨城
 私立正則 林鶴秀 朝鮮

靜岡中學 山本東洋 靜岡
 茨城下妻 淀繩忠夫 茨城
 秋田中學 奈良鹿之助 秋田
 秋田中學 三浦忠二 秋田
 山形中學 小林五兵衛 山形
 宮城古川 寺坂源雄 宮城
 佐賀唐津 神崎梧樓 佐賀
 仙臺第二 和田義信 茨城
 新潟村松 堀篤 新潟
 福嶋會津 渡邊三郎 福嶋

○第八章 卒業生氏名 (大正七年十月末調)

姓名ノ上ニ記載セル法、ハ法學士、法博、ハ法學博士、文、ハ文學士、文博、ハ文學博士、工、ハ工學士、工博、ハ工學博士、理、ハ理學士、理博、ハ理學博士、農、ハ農學士、農博、ハ農學博士、林、ハ林學士、獸醫、ハ獸醫學士、水産、ハ水産學士、醫、ハ醫學士、醫博、ハ醫學博士、藥、ハ藥學士、藥博、ハ藥學博士、又東法、東文、東工、東理、東農、東醫、ハ東京帝國大學、法、文、工、理、農、醫科大學ニ在學ノ者、京法、京文、京理、京工、京醫、ハ京都帝國大學、法、文、理、工、醫科大學ニ在學ノ者、九工、九醫、ハ九州帝國大學工、醫科大學ニ在學ノ者、北醫、北理、ハ東北帝國大學醫、理科大學在學ノ者、ハ死亡者ノ符號ナリ

第二高等學校本科卒業生(自明治二十五年至同二十七年)三十三人

明治二十五年 十人

- 第一部 法科
 - 田所美治 高知 ×法 關口 銀群馬 法 南部皆治 岩手
 - 高橋達太郎 長野 法 波多野高吉 茨城 (關皆治改)
- 第一部 文科
 - 玉蟲一郎 宮城
- 第二部 工科

工 葛 藏 治 岩 手 工 石 川 綾 治 宮 城

第二部 理科

理博、理新城 新藏 福嶋 × 大石 豐馬 山形

明治二十六年 十人

第一部 法科

法 井上準之助 大分 × 岩橋良俊 福岡 × 馬渡鐵一 佐賀

第一部 文科

×文博 高山林次郎 山形 文 畔柳都太郎 山形 文 山内晋卿 嶋根

第二部 工科

工 青山忠治 山形 工 青木 勇 山形 工 玉城孝治 宮城
佐藤興藏 山形

明治二十七年 十三人

第一部 法科

注 小濱松次郎 鹿兒嶋

第一部 文科

文 土井林吉宮城 文 三浦菊太郎福鳥 ×文 板垣政一岩手

×文 猪狩幸之助宮城

工 中川鐵彌長野 工 大山勝三郎福嶋 工 清田知本福井

理博、理平山清次宮城 ×理 河合弟二兵庫 理 菅野皆可宮城

理 近江幸治宮城 理博、理飯塚啓詳馬

第二高等學校大學豫科卒業生(自明治二十八年至大正六年)三千六百三十人

明治二十八年 四十八人

第一部 法科

法	松本重威福嶋	法	古市啓香川	×法	小田德五郎愛媛
法	三井久次大阪	法	遠山市郎兵衛和歌山	法	萩田延治郎香川
法	坂野鐵次郎岡山	法	濱口解助改(濱山)木村英俊福嶋	法	片山繁雄岡山
法	原元藏福嶋	法	松田利吉宮城	法	堀勘次郎滋賀
法	上野山重太夫和歌山(石戸友吉改)	法	岸崎昌嶋根		

第一部 文科

文	名須川良岩手	文博、文	藤井健治郎山形	文	今福忍神奈川
文	林並木高知	文	中村勝麻呂滋賀	文	吉村友喜高知
文	岡本勇三重	文	佐藤小吉山形	文	桑原直太郎嶋根(齋藤直太郎改)
文	尾崎八束神奈川	×文	酒生慧眼福井	文	井上源次郎山形
文	清岡猛虎高知	工	土井久吉岐阜		

第二部 工科

工博、工	加茂正雄愛媛	工	小野房若宮城	工	木下淑夫京都
工	中村幸之助宮城	×工	小坂他一郎石川	工	田賀奈良吉鳥取
工	芳賀惣治郎宮城	工	井上親雄山口	工	田邊勝太郎嶋根
工	金澤幸助山形	工	崎川茂太郎佐賀	×工	茂庭正宮城
工	伊藤常夫東京	×工	高須千三郎兵庫	工	中桐春太郎岡山
工	勝又愛治郎宮城				

第二部 理科

理	高野由哉宮城	理	池田清靜岡
第二部	農科		

林博、林諸戸 北郡三重 農 堀内政一 岩手

明治二十九年 八十五人

第一部 法科

法博、法河津	暹東京	法	多喜澤秀雄	千葉	法	溝淵孝雄	高知	
法	中西清一	東京	法	大隈信常	東京	法	富嶋元治	京都
法	嶋田宗謙	秋田	法	茂泉敬孝	山形	法	竹内金太郎	新潟
法	入澤重磨	山口	法	北村開三	香川	法	八名金緑	岡山
法	和氣甚八	岡山	×法	長野英治	群馬	法	平澤均治	青森
法	大瀧新之助	山形	×法	佐藤静馬	青森	×法	岡崎孝八	福岡
法	若宮貞夫	東京	法	森井 冽	北海道	法	中村寅吉	滋賀
法	宇都宮友枝	東京	法	嶋村孝三	東京	法	加藤孝之	岐阜
法	佐藤金助	山形	法	曾根虎之助	千葉	法	佐藤菅根	山口
法	阿部義藏	滋賀	法	西村道彦	奈良	法博、法花岡	敏夫	東京
法	樋口義藏	滋賀	法	深井道彦	奈良			
法	伊藤理三	千葉	法	弘世正二	滋賀			
×文	森内政昌	三重	文	野田義夫	福岡	×文	菅野養助	宮城

第一部 文科

文	芳澤謙吉	新潟	文	大谷正信	嶋根	文	田淵友彦	鳥取
文	中目 覺	宮城	文	市川代治	山形	×	渡邊芳治	宮城
×文	坂本四方	太鳥取	文	文福來友吉	岐阜	文	久保得二	東京
文	實閣善教	福井	文	堀 謙	徳三重			

第二部 工科

工博、工直木倫太郎	兵庫	工	秋山武三	山形	工	渡邊季四郎	三重	
工	笹瀬成一	東京	工	西川喜計	東京	工	莊司市太郎	北海道
工	神谷龍彦	愛知	工	丸尾美穂	岡山	工	小嶋精太郎	和歌山
工	高石庫治	長崎	工	久門雄二	愛媛	工	林 菊太郎	宮城
工	藤田益三	東京	工	高野四郎	山形	工	野口彌太郎	東京
工	美野田琢磨	宮城	工	清水龍太郎	廣嶋	工	矢内信讓	北海道
工	桑 郎	和歌山	工	石井龍太郎	廣嶋	工	武本四七二	岡山
工	荻野梅吉	改 雄	工	丸山 庸二	和歌山	工	土岐頼一	東京
工	木村 齊	東京	工	小野木孝治	東京	工	福地愛之助	宮城
工	土屋峰吉	岐阜	工	山田七五郎	京都			
理	佐嶋啓助	山形	理	橋川司亮	宮城	理	森 總之助	高知

理 佐藤林藏 山形 理博、理池田岩治 新潟 理 松田 繁鳥取
 理 刈屋他人次郎 岩手 理博、理草野俊助 福嶋

第二部 農科

農 堀田正逸 宮城 農 菅野鐵次郎 東京 ×農 齋藤種次郎 青森
 ×農 須田哲三 北海道

明治三十年

百三人

第一部 法科

法 相良忠道 福嶋 法 長谷川道也 埼玉 ×法 高橋幸次 神奈川
 法 (相良維男改) 佐藤源吉 秋田 法 蠟山長次郎 新潟 法博、法中田 薰 秋田
 法 中川 望宮城 法 鈴木庫太郎 靜岡 法 中村德重 宮城
 法 松山豐造 和歌山 法 澁川千之助 大阪 東法 中屋代次郎 高知
 法 遠藤武治 宮城 法 小林魁郎 新潟 法 今村幸男 奈良
 ×法 郡山大太郎 宮城 法 後藤勇 和歌山 法 兒玉秀雄 山口
 法 永野柳造 福嶋 法 安藤政信 福嶋 ×法 菊地學 而山形
 法 中谷英太郎 和歌山 法 木村四郎 岐阜 ×法 中村順之丞 嶋根

法 齋藤宗四郎 埼玉 法 國分兵吉 岩手 法 井上謙作 新潟
 法 篠崎士郎 岡山 法 江刺家雄 岩手 法 山崎信樹 高知
 法 小嶋啓弑 愛知 石井 旭 大阪 法 三浦榮五郎 福井
 法 河村尙德 山形 (河村仁太郎改)

第一部 文科

×文 渡邊良 北海道 柳 算錄 東京 ×文 石幡伊三郎 東京
 文 成田衛夫 和歌山 文 岩永五郎 長崎 文 煙山專太郎 岩手
 文 杉沼友七郎 青森 文 秋田 實茨城 ×文 近藤鐵造 東京
 文 大倉發身 長野 文 白井 弘山形 文 駒井德太郎 奈良
 文 (石澤發身改) 中山文雄 三重 文 岡 繁太郎 香川 文 菊地行藏 宮城

第二部 工科

工 井上秀二 宮城 × 齋藤二郎 宮城 × 手塚 次宮崎
 工 坂井定吉 東京 工博、工舟橋了助 宮城 ×工 黒澤省三 秋田
 工 本間泰吉 秋田 工 矢野道也 宮城 工 坂本助太郎 宮城
 工 石渡信太郎 神奈川 工 熊谷直道 宮城 工 小林久平 新潟
 工 (馬場齊吉改) 馬場才吉 北海道 工 齋藤 眞福井 工 岩瀨德藏 埼玉
 (熊谷德藏改)

文	箭内 巨福嶋	×文	島地雷夢山口	文	内ヶ崎 作三郎 宮城
文	博、文小 西重直山形	文	小倉 博宮城	文	鈴木暢 幸山形
文	村木維夫岩手	文	栗原 基宮城	文	相馬明次郎 山形
×	渡邊幸次郎福嶋	文	中村和之雄愛知	×文	藤 國太郎 岐阜
文	寺内淳二郎東京	文	長尾景嶽高知		
第二部 工科					
工	博、工君 嶋八郎福嶋	工	加藤 榮千葉	工	稻川興一 東京
工	片山徹吉新潟	×	依 益一 嶋根	工	天沼俊一 東京
工	原 正 幹福嶋	×工	橋川源吾宮城	工	加藤 良 東京
工	樺嶋正義東京	工	磯海國吉福嶋	工	武藤稻太郎 神奈川
工	服部省三東京	工	田原得三兵庫	工	村田重義 神奈川
工	杉本五十鈴東京	工	山村鏡吉東京	工	伊藤誠吉 山形
工	坂木丹治群馬	工	影山穂作静岡	×工	曾我俊次郎 新潟
工	早田鐵之助福嶋	×工	小林岩雄東京	工	松川雄三 東京
×工	太田利行福嶋	工	島山嶺男東京	工	青木庄作 茨城
工	伍堂卓雄東京	工	松浦衛男東京	工	望月榮作 静岡

×	田邊慎一 東京	×工	太田 毅 北海道	工	池田 稔 長野
第二部 理科					
理	博、理遠藤吉三郎 北海道	理	大塚洋之助 東京	×理	掛江寅三 廣嶋
理	富田逸二郎 東京				
第二部 農科					
農	山縣宇之吉 東京	農	八嶽儀七郎 山形	農	秦 靖 彰 福嶋
林	川嶋明八岩手	獸醫	宮本曉 誕山形		

明治三十二年 百二十三人

第一部 法科					
法	木村 清高知	法	嶋村幡彦高知	法	奥山清次 山形
法	博、法佐藤丑次郎 山形	法	三浦常太郎 青森	法	野手 耐 茨城
法	猪股俊隆 青森	法	澁谷米太郎 山形	法	常世克巳 福嶋
×	加藤源八福岡	法	安藤政得福嶋	法	四條隆英 東京
法	神谷健夫山形	法	丸瀬寅雄 青森	法	鈴木五郎 東京
法	新庄清一大分	法	鈴木善吉 東京	法	木藤 郁 鹿兒嶋

工	館	八洲彦	三重	工	塚木	直福岡	工	猪木弟彦	岡山
工	駒杵	勤治	山形	×工	後藤弘張	東京			
				理科					
理	永井元吉	宮城		理	西村岸太郎	山形	法	宮内季子	千葉
林	戸澤又次郎	山形		理	湯田重太郎	福嶋			
				農科					
×農	足立美堅	東京		農	田中正夫	宮城	農	横山基吉	廣嶋
農	石川準太郎	佐賀		農	大石明德	高知			
明治三十三年 百十人									
第一部 法科									
法	佐々木安五郎	岩手		法博	法吉野作造	宮城	×	飯嶋	泰秋田
法	武富	濟愛知		法	田村藤四郎	福嶋	法博	法馬部	靜治
法	相馬昌三	山形		法	片倉愛一	宮城	法	山田浩三	秋田
法	井田守三	神奈川		法	大塚小一郎	愛知	法	西村金三郎	京都
×法	山下暉賢	鳥取		法	楠瀬保馬	高知	法	堀田貢	福島

法	穴澤清次郎	茨城	法	渡邊英麿	廣嶋	法	天野得三	和歌山	
法	紛陽正熊	鹿兒嶋	法	大野中二	鹿兒嶋	法	藤井正夫	東京	
法	芳野四郎	東京	法	星田正一郎	和歌山	法	宮崎確雄	福岡	
法	若尾庄吾	高知	法	安藤真雄	東京		村上	蘭兵庫	
法	戸津是義	宮城	法	深葦宗助	岐阜				
第一部 文科									
文	大越菊次郎	福嶋	文	皆川正禧	新潟	文	小山東助	宮城	
文	若杉三郎	東京	文	栗原清治	長野	文	三浦吉兵衛	宮城	
文	木幡忠福	嶋	法	本多二郎	青森	文	若木廣良	山形	
文	倉山榮	東京	文	村上正五郎	東京	文	小松武治	山形	
×文	龜山正賢	岩手	×文	齋藤信策	山形	文	祥雲確悟	新潟	
文	鎌田繁吉	山形	文	石井淳雄	東京	文	岡田徳太郎	福岡	
文	辻岡清一郎	大阪		(石井波平改)					
第二部 工科									
工	本原耿介	東京	工博	工佐野利器	山形	工	積口慶三	福嶋	
工	濱田東稻	愛媛	工	武藤盛勝	宮城	工	横山一	宮城	

工	佐久間藏太佐賀	工	照井運藏秋田	工	熊田孝太郎福嶋
工	平岡通也福井	工	渡邊波郎兵庫	工	薬科祐雄神奈川
×	榊嶋憲吉福岡	工	岡新六福井	×	工 木村調吉千葉
工	横山德太郎宮城	工	高橋元次郎廣嶋	工	清水珠三秋田
理	山本茂雄岩手	工	關盛治長野	工	千葉利智宮城
工	坂本錦治高知	工	鈴木善八福嶋	工	昌谷三雄東京
工	安倍強宮城	工	青木善馬高知	獸醫	澤村捐造新潟
工	福田回三郎北海道	工	松田一雄北海道	工	坂本潔岩手
工	神澤勝也秋田	工	金子藤田寛改東京	工	上村亥八山口
工	山口德次郎東京	工	佐藤功一栃木	工	中嶋德太郎福岡
工	吉田二郎宮城	工	齋藤喜八神奈川	工	田嶋勝二郎東京
×	工 嶺岸二郎改	工	日置久治鳥取	工	梅地健造山口
工	神崎喜八岡山	工	赤塚克己岩手	工	平田保三滋賀
工	木幡富治北海道	工	鼠入豊治宮城	工	榊明一東京
工	三田政五郎福嶋	工	佐藤多次郎山形	理	林房吉德嶋
理	日吉一雄福岡	理	佐藤多次郎山形	理	林房吉德嶋

第二部

理科

×	理 大日方順三茨城	理	志賀實宮城	理博、理	工 志村恒義宮城
理	平野亦介岩手	理	小川邦人廣嶋	工	志村恒義宮城
農	林 佐々磐多北海道	農	鈴木茂次岐阜	農	早坂恒太郎山形
農	福士悟郎青森	農	小嶋壽宮城		

第二部

農科

明治三十四年

百三十三人

第一部

法科

法	鮭延信道宮城	法	佐伯信岩手	法	横見補一秋田
法	澤田洪憲岩手	法	青木道柄木	×	石倉善助埼玉
×	齋藤源助改	法	大久保忠雄高知	法	達谷窟恂二岩手
法	齋藤行輔福嶋	法	三淵忠彦福嶋	法	井上長政群馬
法	河西三九郎山梨	法	三淵忠彦福嶋	×	橋川進宮城
法	勝田安次静岡	法	石塚瀧三神奈川	法	齋藤虎五郎群馬
法	中村永伯茨城	法	平渡信宮城	法	石森喜藏宮城
法	宇野要三郎青森	法	染谷吉次千葉	法	鈴木博東京
×	鎌田信省宮城	法	石塚興八郎宮城	法	鈴木博東京

法	華山儀一郎	山形	法	江橋活郎	長野	法	伊藤清宮	城
法	佐々木敏綱	東京	法	中村秋三郎	北海道	法	近藤政治	京都
法	志賀克巳	秋田	法	福鎌文也	群馬	法	水谷彪	福嶋
法	岡田與吉	長崎	法	田村莊太郎	栃木	法	江渡幸三	青森
法	八田良恭	東京	法	井内太郎	北海道	法	黒川誠一	滋賀
法	大石定吉	静岡	法	林直衛	兵庫			
文	岡部爲吉	山形	文	若木貞一	山形	×文	廻間武三	青森
法	杉野耕三	岐阜	文	佐藤利兵衛	山形	文	莊田安太郎	山形
文	坂井峯次	新潟	文	深澤健吉	山形	文	川嶋金五郎	東京
文	小林秀雄	東京	文	橋本忠夫	宮城	法	石塚綱太郎	秋田
工	四方來三	兵庫	工	中山平七	茨城	工	堀哲三	福井
工	小野諒兄	長野	工	久保誠一	山口	工	谷口徳政	兵庫
工	茂庭忠次	宮城	×工	秦三郎	福嶋	工	大矢四郎	岩手
工	萩與可	石川	工	清水十二	埼玉	工	野村六三	静岡

工	茂木幹	群馬	×工	三上景忠	東京	工	辻湊	佐賀
工	中澤重雄	長野	工	坂元寅彦	鹿兒嶋	工	今泉茂松	宮城
工	太田篤	大阪	×工	都澤惇	宮城	工	長澤轡	岩手
工	折原佐十郎	群馬	工	黄金井晴正	沖繩	工	八幡一郎	山形
工	弘中儀一	山口	工	山口次郎	東京	工	加茂下良	福嶋
工	奥村簡二	東京	工	中野昇	東京	工	百瀬國三	長野
理	佐藤昭忠	青森	理	宮川重三	山形	工	山内正三	山形
理	志田才助	秋田	工	山口忠三	宮城	工	田村健二	東京
理	渡邊襄	岐阜	理	高橋祥	岡山	×理	藤井徳次	岩手
理	大場彌一	宮城	理	大橋五郎	福嶋	理	金子龍之助	東京
理	大井上義近	北海道	理	村松太郎	新潟	理	津田和成	東京
農	佐藤寛次	山形	農	福留要治	高知	農	松平次郎	愛知
×林	別役勵夫	高知	農	松嶋一郎	廣嶋			